

証券コード:5401



新日鐵住金

NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL

2017年度 3Q決算説明会

常務執行役員

宮本 勝弘

2018年2月1日

特に断りのない限り、本資料中の財務数値は連結数値

1. 2017年度3Q実績・通期見通し
2. 中期経営計画の進捗状況
3. 参考データ

1. 2017年度3Q実績・通期見通し

2017年度3Q実績・通期見通しの概況

事業環境

- 国内：個人消費持ち直し、設備投資の増加、企業の生産活動改善など、緩やかな回復が継続。
鉄鋼需要は自動車向け・産業機械向けを中心に堅調に推移。
- 海外：米国・欧州とも底堅く推移。中国は堅調維持。新興国経済も緩やかな回復が継続。
鉄鋼需要も総じて堅調に推移。鋼材市況は、第2四半期以降、中国での過剰能力削減の進展もありタイトな需給環境を背景に上昇。

トピックス

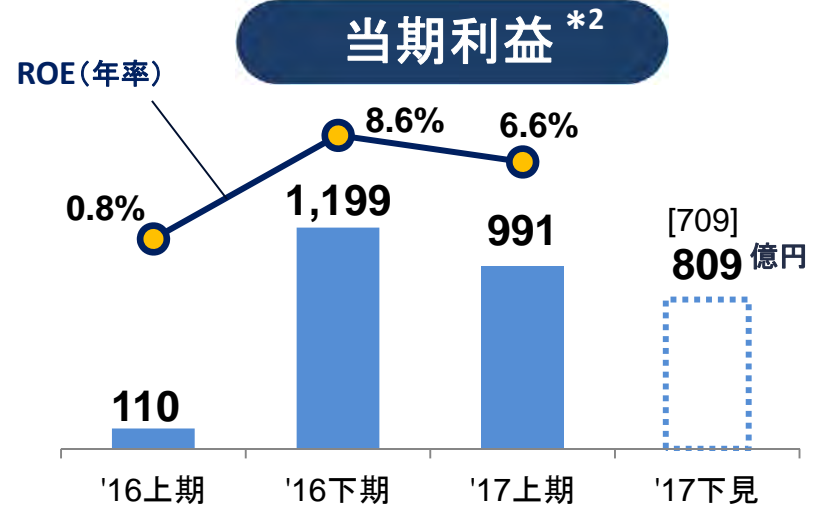
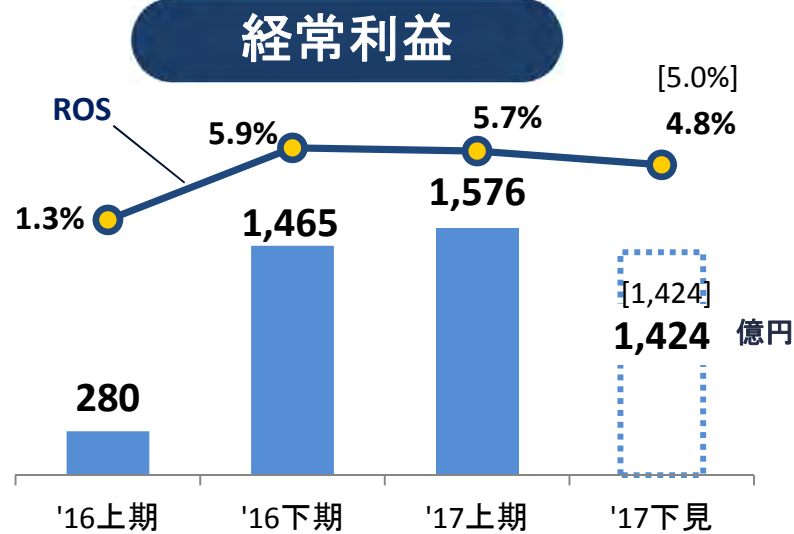
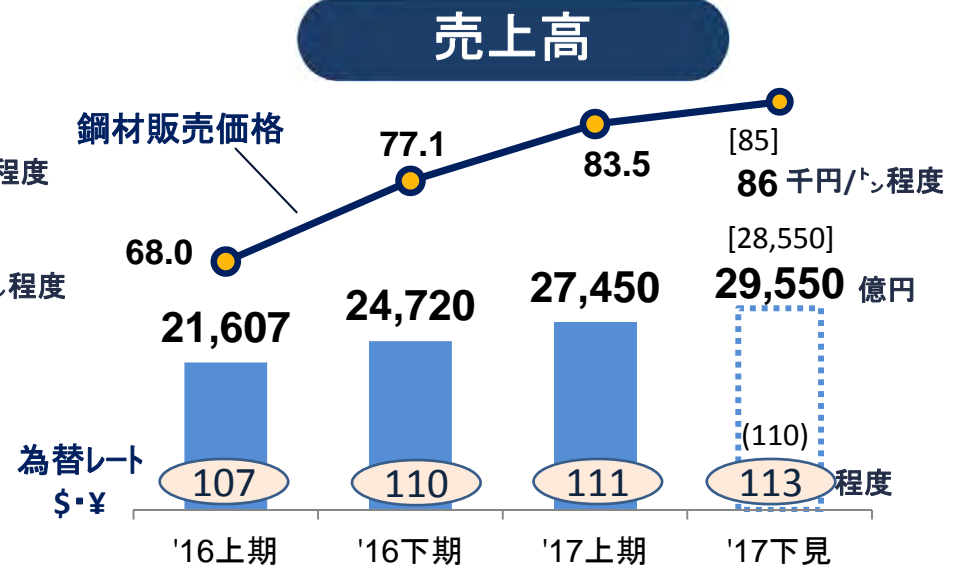
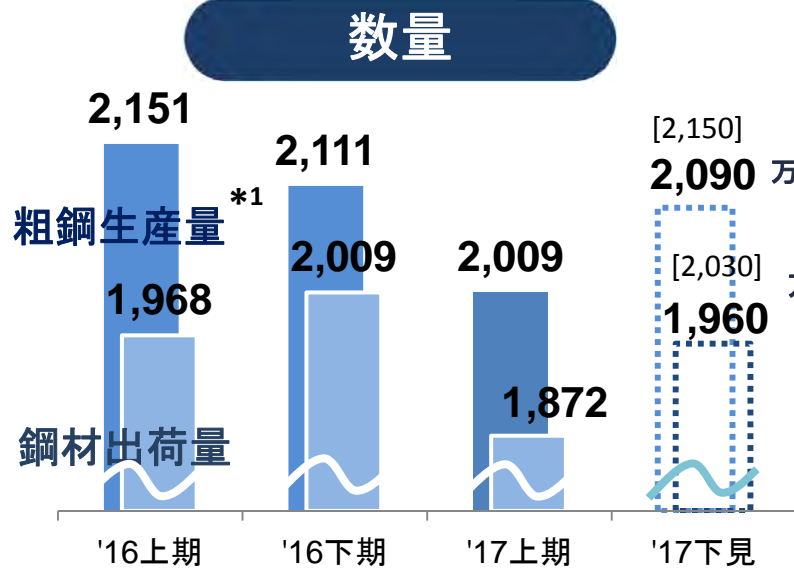
- 市況品コスト：合金副原料、フレート等の市況高水準継続。
- 販売価格：「再生産可能な適正マージン確保」に向けた値上げに取組中。
- グループ会社：(株)片倉の鋼管を子会社化（2017.12公表 2018.2.1子会社化）
リンテックス(株)株式をトピー工業(株)へ譲渡（2017.3公表 2018.1契約締結）
日鉄住金鋼鉄和歌山(株)を当社に合併（2017.12公表、2018.4合併）
- 非鉄：新日鉄住金エンジニアリング(株)と東洋エンジニアリング(株)が包括連携契約を締結（2017.12公表）

決算概況

- 17年度3Q累計実績：経常利益 2,254億円、当期利益* 1,560億円（176.8円/株） ROS=5.4%
- 17年度通期見通し：経常利益 3,000億円、当期利益* 1,800億円（204.0円/株） ROS=5.3%
- 当期末配当：30円/株（年間配当金 60円/株、連結配当性向 30%程度）予定

* 親会社株主に帰属する当期純利益

主要指標推移



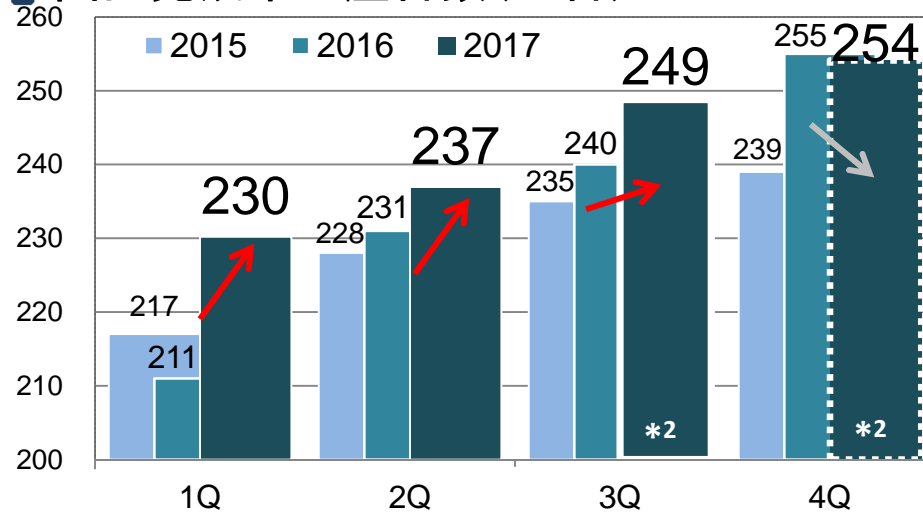
*1 単独十日鉄住金鋼鉄和歌山

*2 親会社株主に帰属する当期純利益

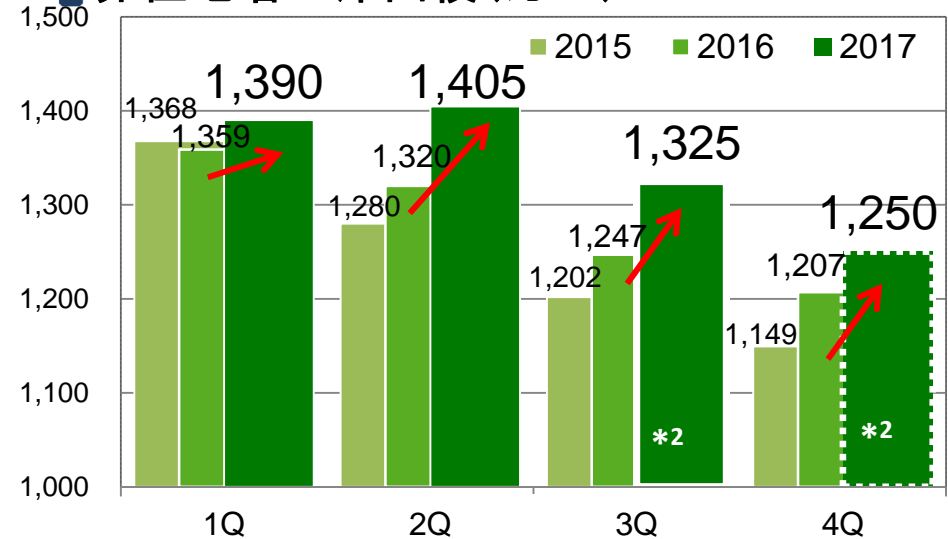
* []は前回(10/27)公表値

国内主要分野活動水準

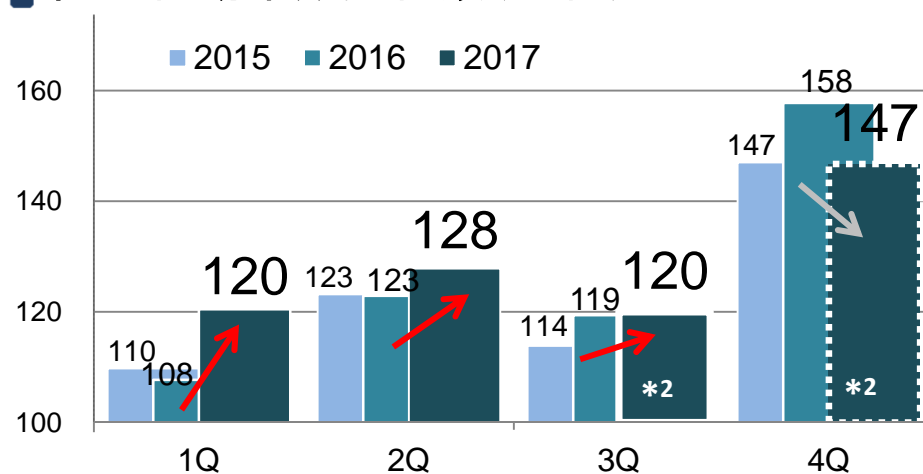
国内完成車生産台数(万台)



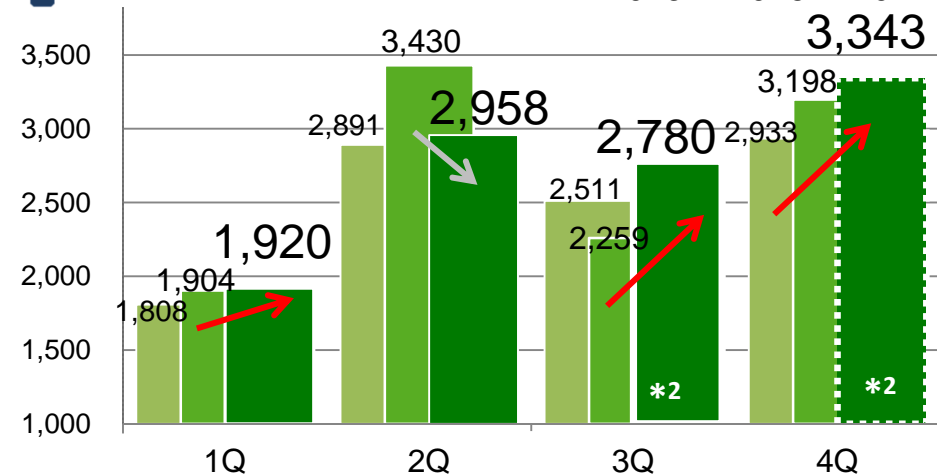
非住宅着工床面積(万㎡)



国内自動車販売台数(万台)



公共工事受注^{*1}(10億円)

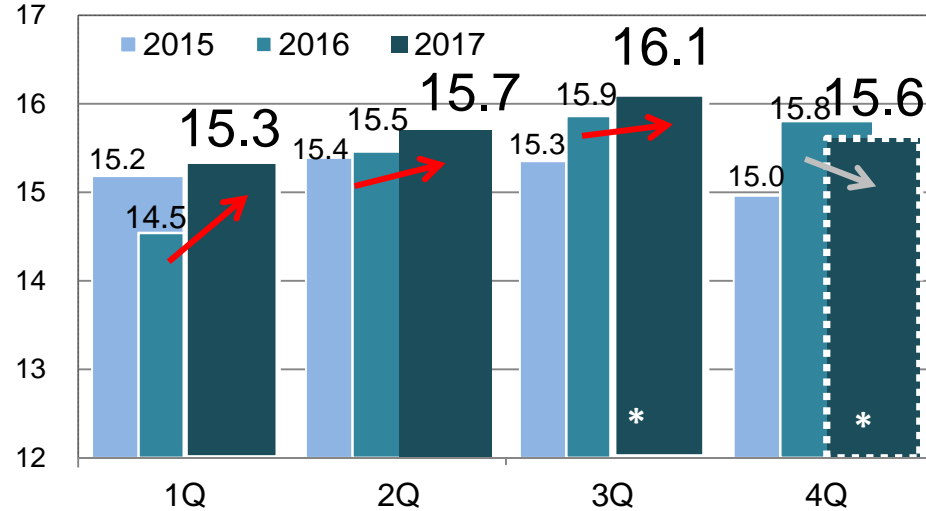


*1 建設工事受注動態統計の公共工事受注額

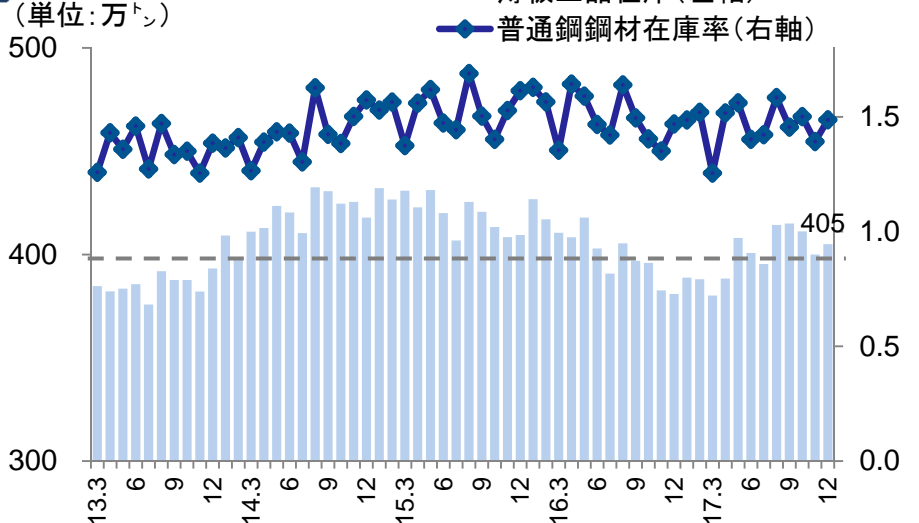
*2 12月上旬見込み値

国内鋼材需給

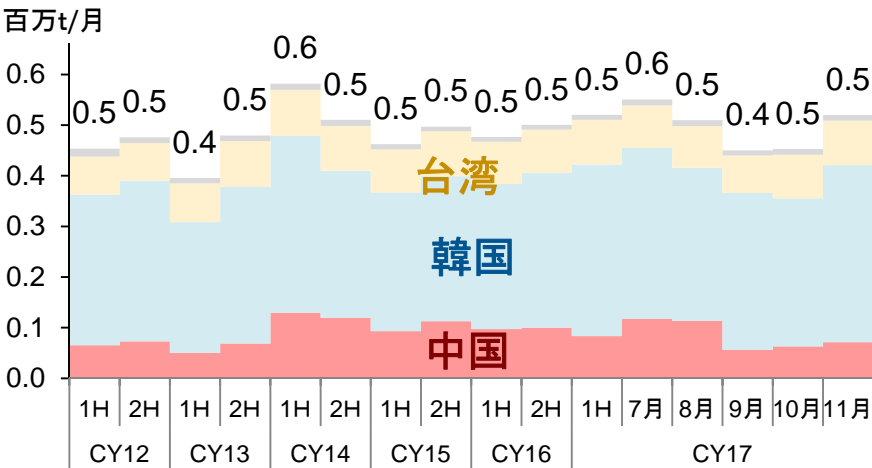
国内鋼材消費(百万t)



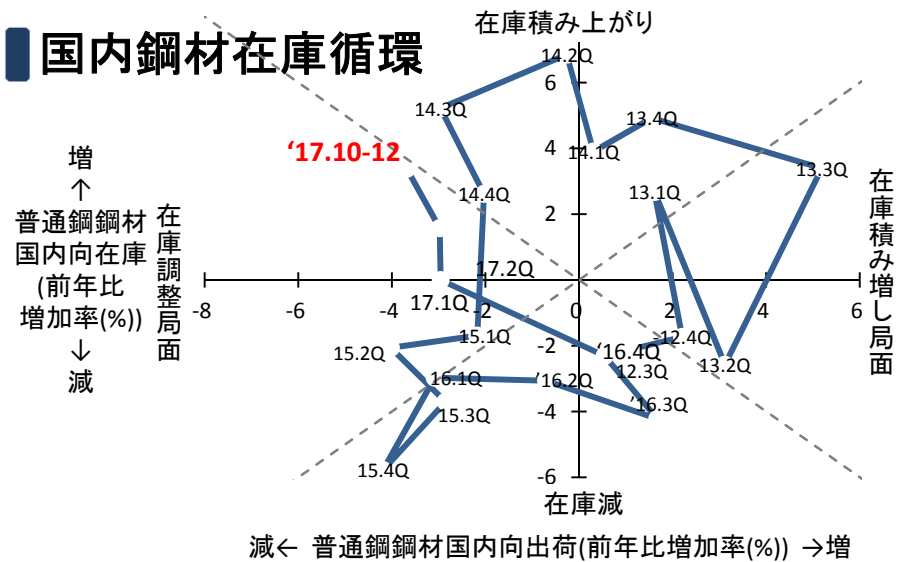
薄板三品在庫



日本への輸入材



国内鋼材在庫循環



* 12月上旬見込み値

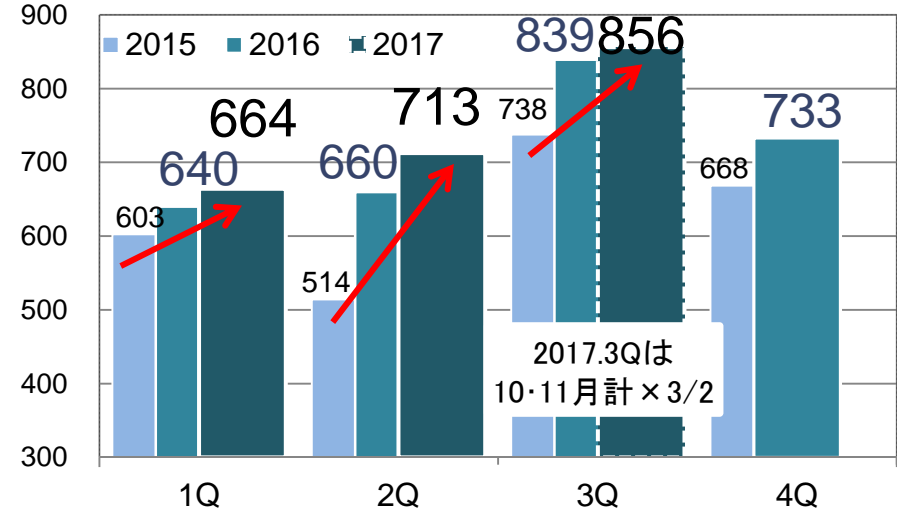
海外主要分野活動水準

米国資本財受注

(航空機と軍事関連を除く)

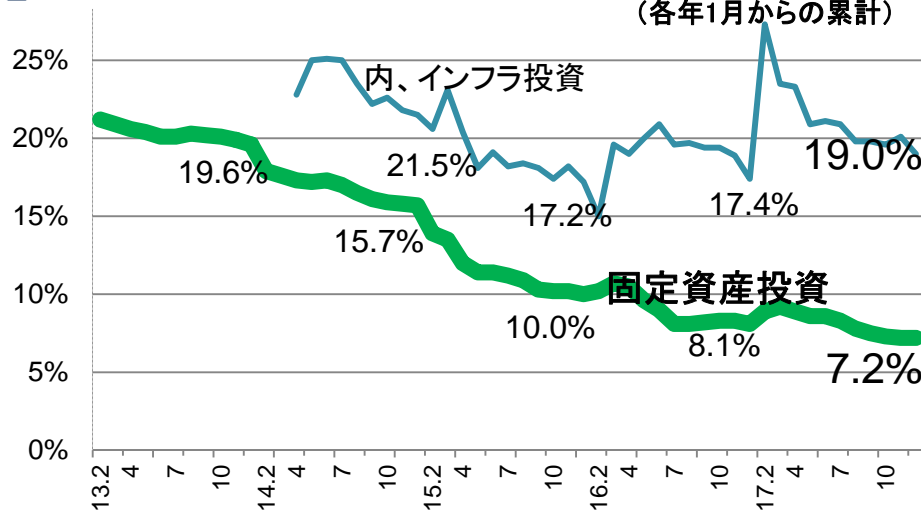


中国完成車生産台数(万台)

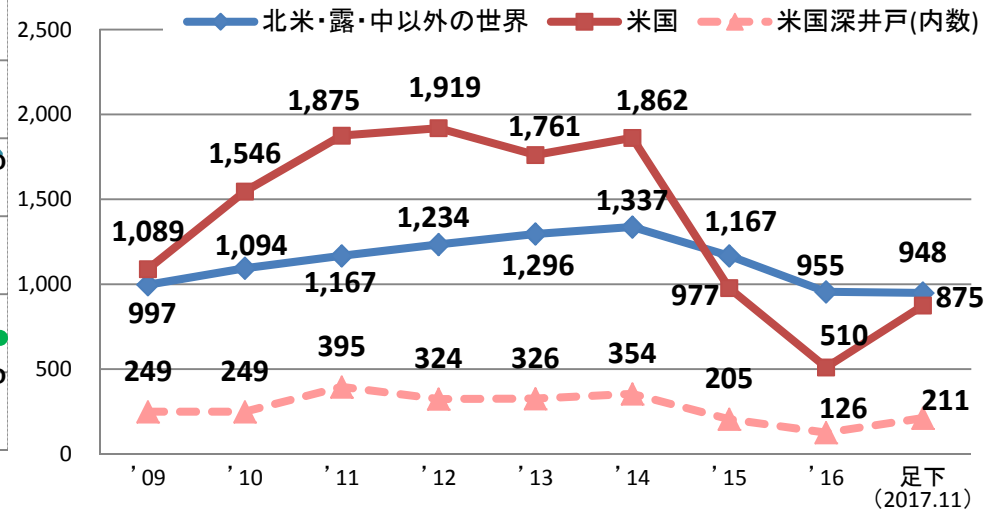


中国固定資産投資対前年伸び率

(各年1月からの累計)



リグカウント(基)



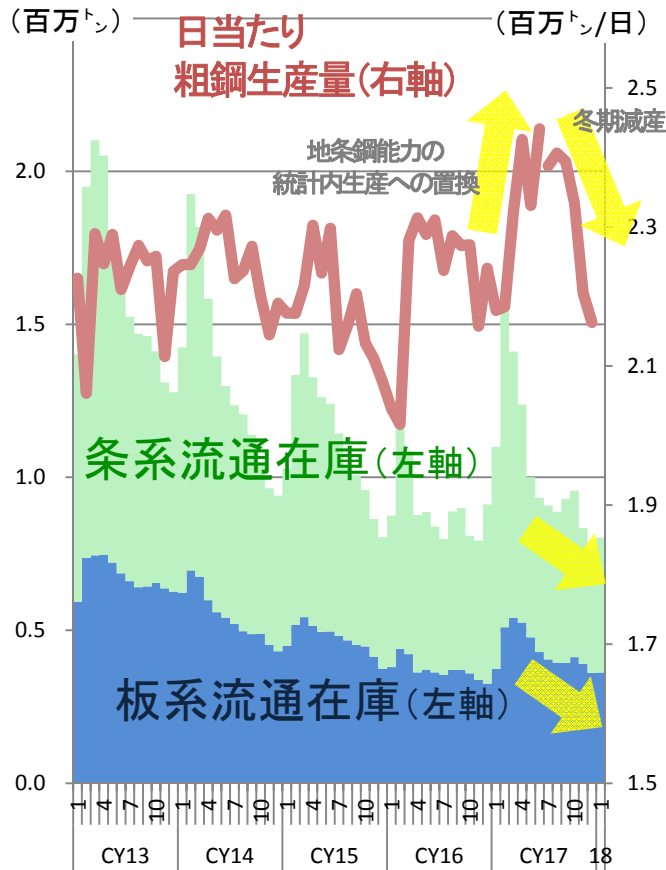
(出所: 中国 国家統計局)

(出所: Baker Hughes)

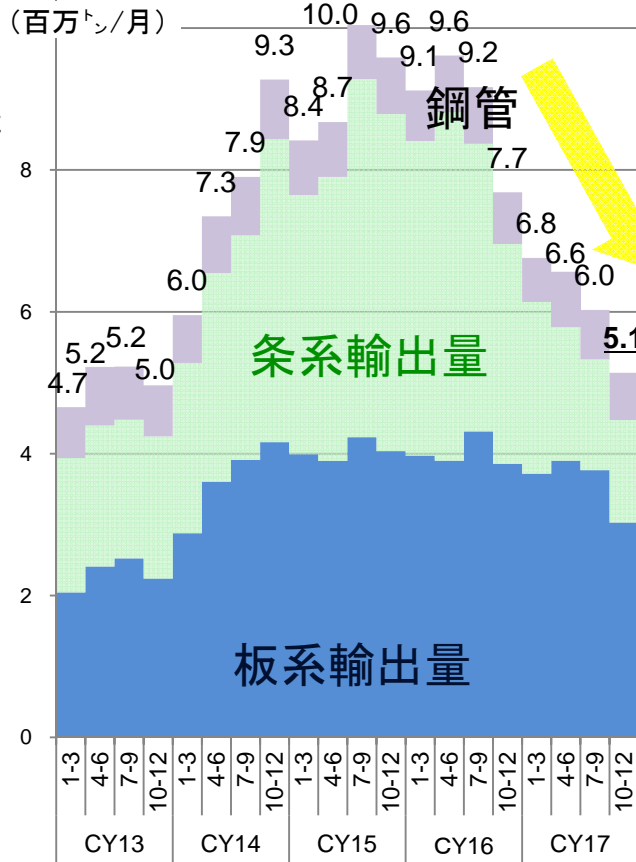


中国鋼材需給・市況

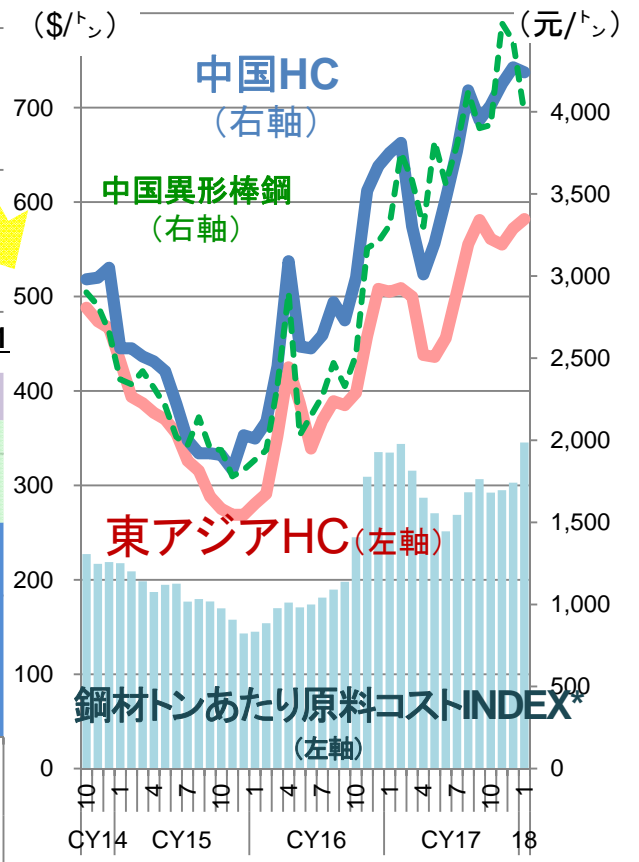
中国粗鋼生産と鋼材流通在庫



中国鋼材輸出 品種別



鋼材市況



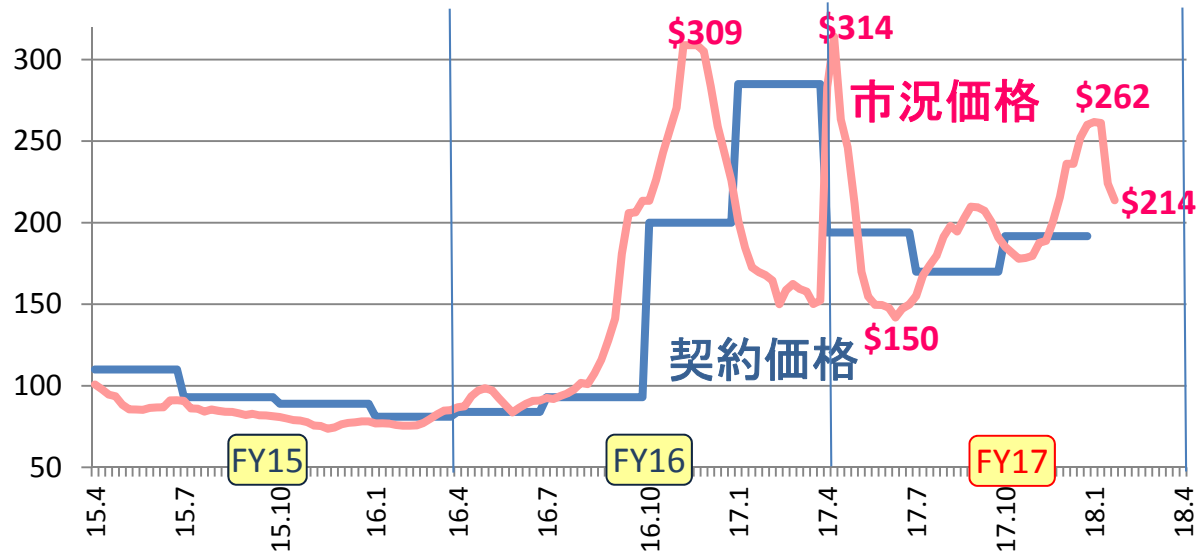
- 粗鋼生産: 17年春～夏、地条鋼淘汰・統計内生産増。秋～冬、冬期減産(中国政府による徹底的な管理)。
- 在庫: 減産強化により在庫は低位。冬期備蓄のため、1～2月は在庫積みの可能性大。
- 輸出: 供給側改革により、16年以降減少傾向。17CY 対前年▼31%。
- 市況: 堅調な内需と冬期減産により、タイトな需給環境が継続。12月以降も良好な市況が続いた。

(出所: 日本鉄鋼連盟、鋼之家、当社推定)

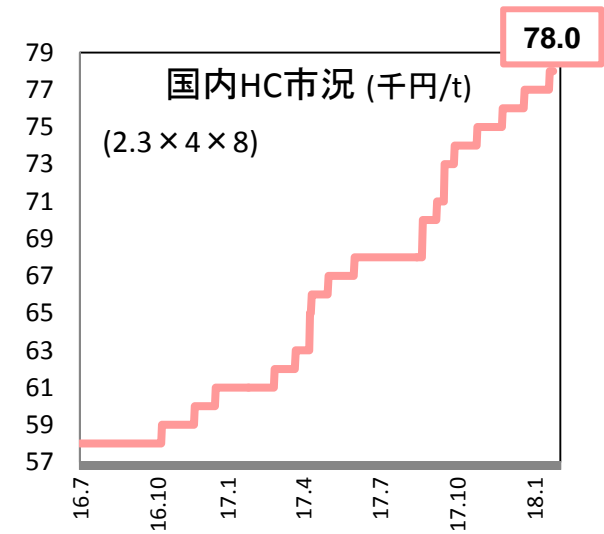
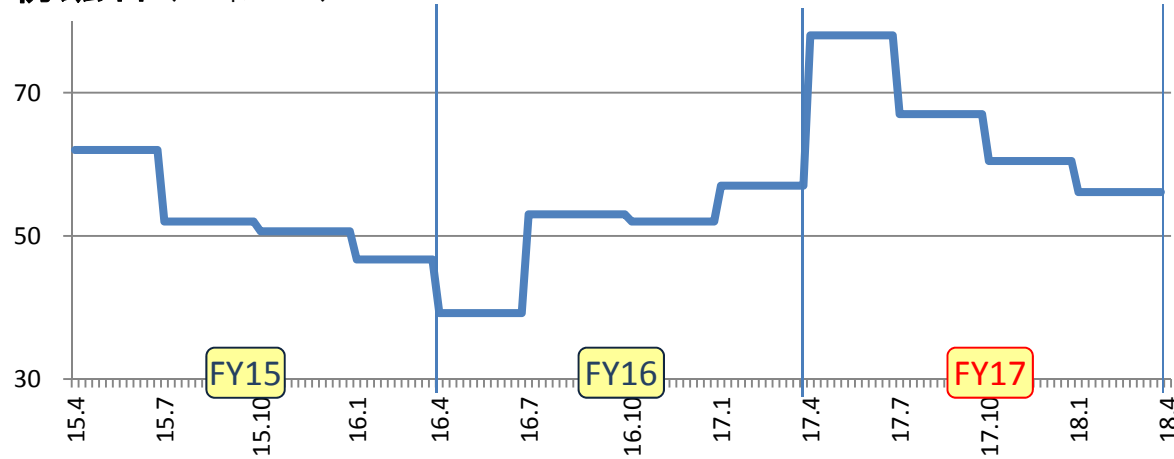
* 鉱石市況 × 1.7 + 石炭市況 × 0.9で計算

主原料価格・HC市況価格推移

強粘結炭 (US\$/wmt)



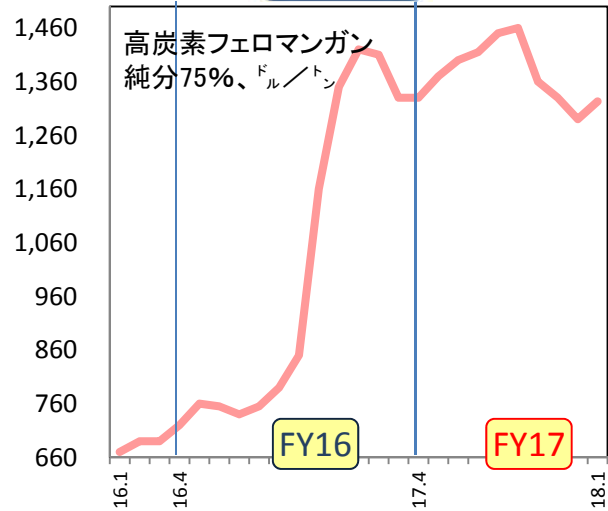
粉鉱石 (US\$/dmt)



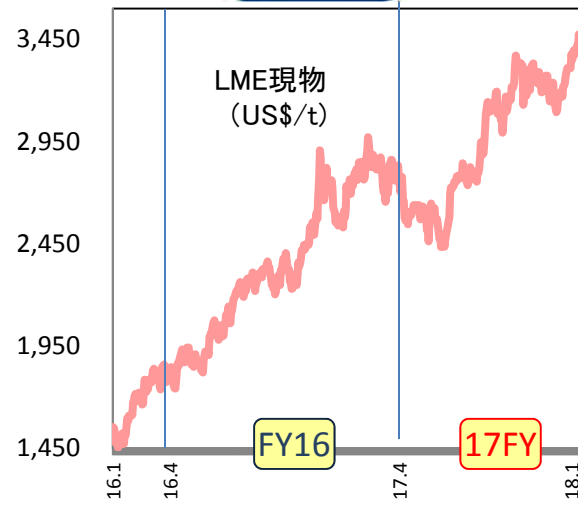
(出所:LME, Bloomberg, 日刊鉄鋼新聞)

市況品価格上昇

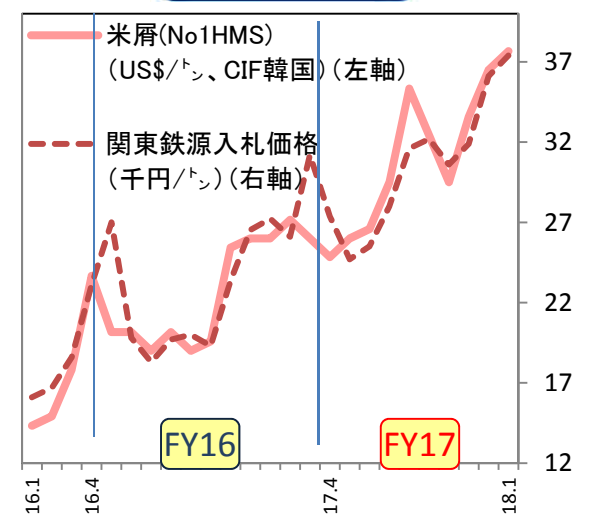
マンガン



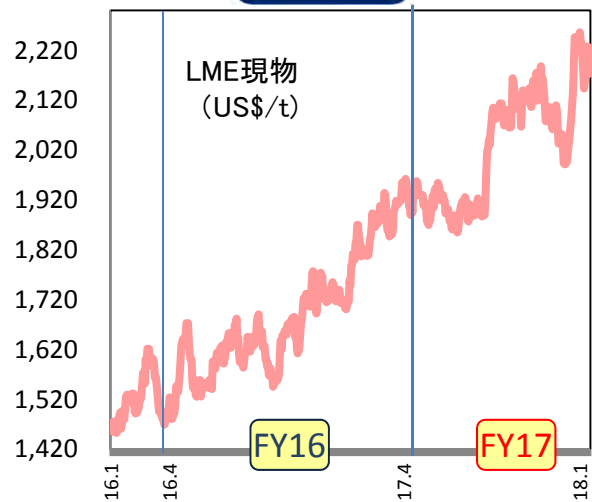
亜鉛



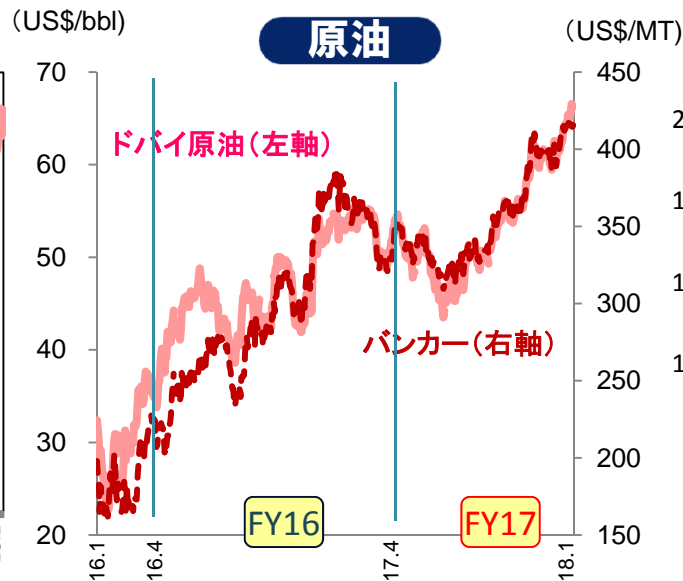
スクラップ



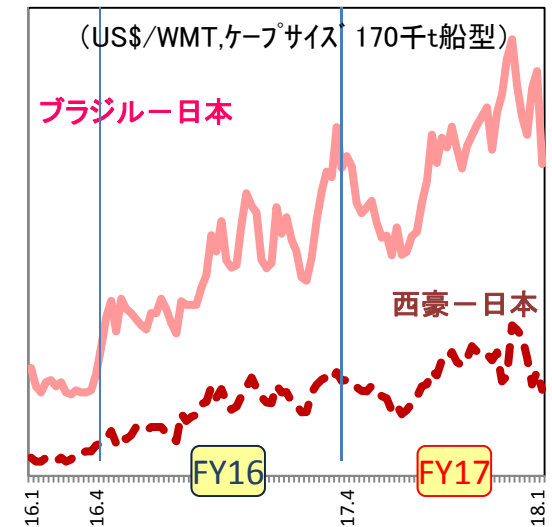
アルミ



原油



フレート



(出所:LME, Bloomberg, 鉄鋼新聞)

当社製鉄事業 主要指標

(単位:万ト)	FY16 年度	FY17							差異				
		2Q	上期	3Q	4Q 見通し	下期 見通し	*3 [前回 年度 見通し]	年度 見通し	17/2Q → 17/3Q	17/3Q → 17/4Q見	17/上 → 17/下見	16年 → 17年見	17年見 (前回) → 17年見
出銑量(単独) *1	4,215	1,013	2,005	1,008	1,080 程度	2,090 程度	[4,150] 程度	4,090 程度	-5	+72 程度	+85 程度	-125 程度	-60 程度
粗鋼生産量(連結)	4,517	1,169	2,312	1,168	1,240 程度	2,410 程度	[4,790] 程度	4,720 程度	-1	+72 程度	+98 程度	+203 程度	-70 程度
粗鋼生産量(単独) *2	4,262	1,019	2,009	1,008	1,080 程度	2,090 程度	[4,160] 程度	4,100 程度	-11	+72 程度	+81 程度	-162 程度	-60 程度
鋼材出荷量	3,978	939	1,872	939	1,020 程度	1,960 程度	[3,900] 程度	3,830 程度	~	+81 程度	+88 程度	-148 程度	-70 程度
シームレス出荷量	93	23	47	24	26 程度	50 程度	[97] 程度	97 程度	+1	+2 程度	+3 程度	+4 程度	~ 程度
鋼材平均価格 (千円/ト)	72.6	83.0	83.5	86.0	86 程度	86 程度	[84] 程度	85 程度	+3.0	~ 程度	+3 程度	+12 程度	+1 程度
鋼材輸出比率(% [金額ベース])	42.3	41.5	41.6	40.6	42 程度	41 程度	[41] 程度	41 程度	-0.9	+1.4 程度	-0.6 程度	-1.3 程度	~ 程度
為替レート(¥・\$)	109	111	111	113	113 程度	113 程度	[110] 程度	112 程度	2円安	~	2円安 程度	3円安 程度	2円安 程度

*1 北海製鉄・日鉄住金鋼鉄和歌山含み

*2 日鉄住金鋼鉄和歌山含み

*3 前回(10/27)公表値


新日鐵住金

NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL

2017年度3Q実績・年度見通し

(単位:億円)	FY16		FY17							差異					
	(1~3Q 累計)	年度	2Q	上期	3Q	(1~3Q 累計)	4Q 見通し	下期 見通し	^{*2} [前回 年度 見通し]	年度 見通し	17/2Q → 17/3Q	17/3Q → 17/4Q見	17/上 → 17/下見	16年 → 17年見	17年見 (前回) → 17年見
売上高	33,320	46,328	13,896	27,450	14,194	41,645	15,356	29,550	[56,000]	57,000	+298	+1,162	+2,100	+10,672	+1,000
営業損益	621	1,142	334	999	380	1380					+46				
経常損益	1,085	1,745	496	1,576	678	2,254	746	1,424	[3,000]	3,000	+182	+68	-152	+1,255	~
特別損益	-165	71	-29	-29	153	124					+182				
当期損益 ^{*1}	594	1,309	278	991	569	1,560	240	809	[1,700]	1,800	+291	-329	-182	+491	+100
[1株当たり 当期損益]	[67.1]	[148.0]	[31.5]	[112.3]	[64.5]	[176.8]	[27.2]	[91.7]	[193.0]	[204.0]	[+33.0]	[-37.3]	[-20.6]	[+56.0]	[+11.0]
EBITDA	2,859	4,189	1,132	2,612	1,277	3,889					+145				
EBITDA / Sales	8.6%	9.0%	8.1%	9.5%	9.0%	9.3%					+0.9%				
ROS	3.3%	3.8%	3.6%	5.7%	4.8%	5.4%	4.9%	4.8%	[5.4%]	5.3%	+1.2%	+0.1%	-0.9%	+1.5%	-0.1%
ROE	2.9%	4.6%	3.7%	6.6%	7.3%	6.8%					+3.6%				

*1 親会社株主に帰属する当期純利益

*2 前回(10/27)公表値

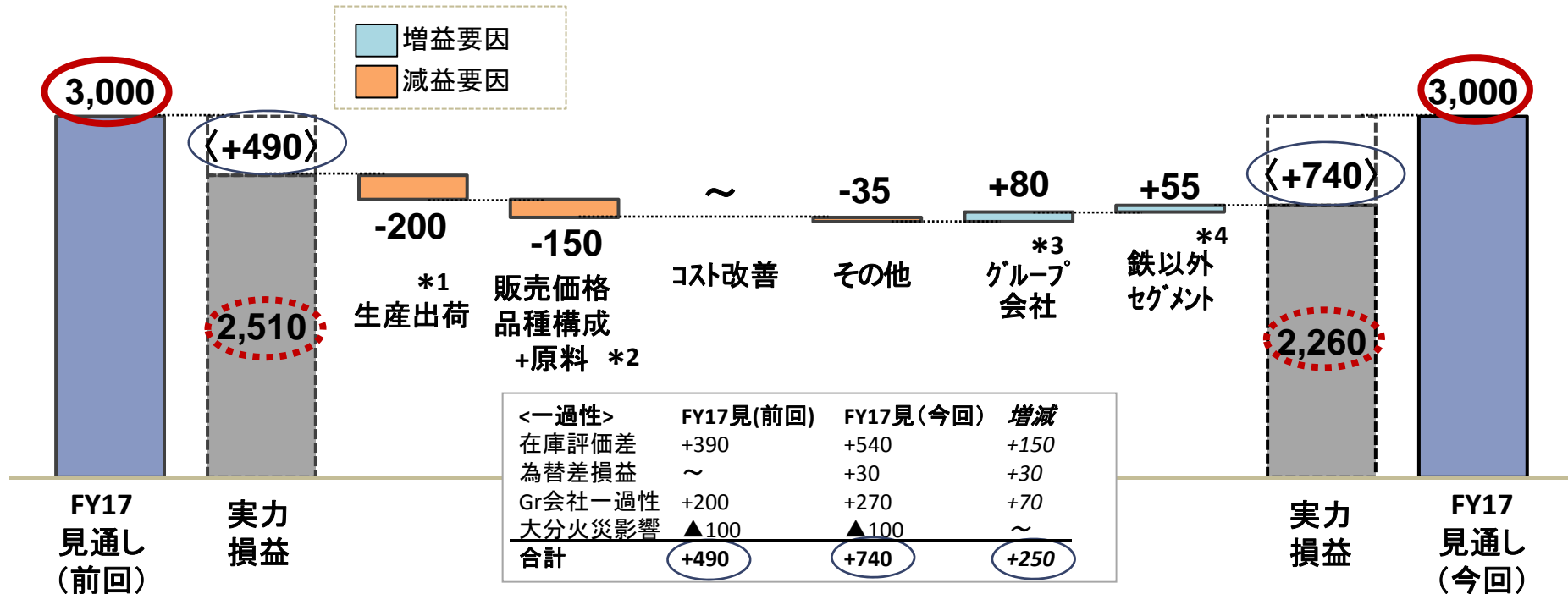
特別損益

	FY16			FY17			
	上期	下期	年度	1Q	2Q	上期	3Q
特別損益 (単位:億円)	-91	162	71	—	-29	-29	153
関係会社株式売却益	—	241	241	—	—	—	—
投資有価証券売却益	—	—	—	—	—	—	245
段階取得に係る差益	—	100	100	—	—	—	—
設備休止関連損失	-27	-100	-127	—	-29	-29	-30
災害損失	—	-78	-78	—	—	—	—
事業再編損	-64	—	-64	—	—	—	-62

経常損益分析 (FY17見通し: 前回(10/27)→今回)

(単位: 億円)	FY17年度 見通し (前回) [A]	FY17年度 見通し [B]	増減 [A→B]
経常利益	3,000	3,000	~
製鉄	2,600	2,550	-50
鉄以外セグメント	395	450	+55
調整額	5	0	-5

- *1 粗鋼-60万トン程度 (4,160程度→4,100程度)
出荷-70万トン程度(3,900程度→3,830程度)
- *2 キャリーオーバー影響含む
- *3 海外事業会社等
- *4 エンジニアリング+25、化学+30、新素材~、NSSOL~



経常損益分析 (FY17/上期→FY17/下期見通し)

(単位:億円)	FY17/上期 [A]	FY17/下期 見通し [B]	増減 [A→B]
経常利益	1,576	1,424	-152
製鉄	1,287	1,263	-24
鉄以外セグメント	232	218	-14
調整額	56	-56	-112

*1 粗鋼+81万トン程度(2,009→2,090程度)
出荷+88万トン程度(1,872→1,960程度)

*上記、生産出荷量は大分厚板火災影響含み。
但し、影響額は一過性に切り出し。

*2 キャリーオーバー影響含む

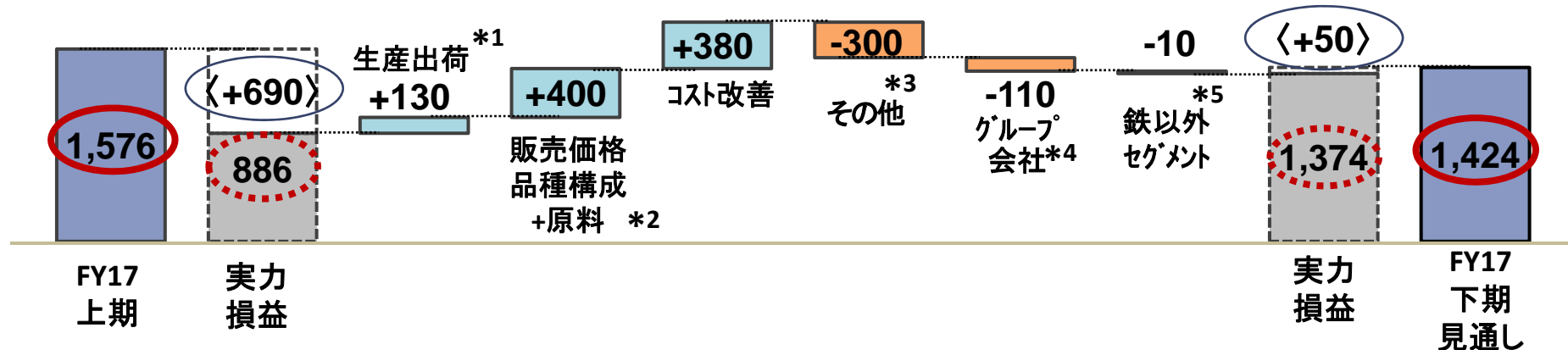
*3 為替フロー: -20、償却費増等

*4 海外事業会社等

*5 エンジニアリング+22、化学-46、新素材-2、NSSOL+16

■ 増益要因
■ 減益要因

<一過性>	17上	17下見	増減
在庫評価差	+600	▲60	▲660
為替差損益	▲10	+40	+50
Gr会社一過性	+200	+70	▲130
大分火災影響	▲100	~	+100
合計	+690	+50	▲640



経常損益分析 (FY16年度→FY17年度見通し)

(単位:億円)	FY16年度 [A]	FY17年度見通し [B]	増減 [A→B]
経常利益	1,745	3,000	+1,255
製鉄	1,380	2,550	+1,170
鉄以外セグメント	352	450	+98
調整	12	0	-12

*1 粗鋼-162万トン程度 (4,262→4,100程度)
出荷-148万トン程度(3,978→3,830程度)

*上記、生産出荷量は大分厚板火災影響含み。但し、影響額は一過性に切り出し。

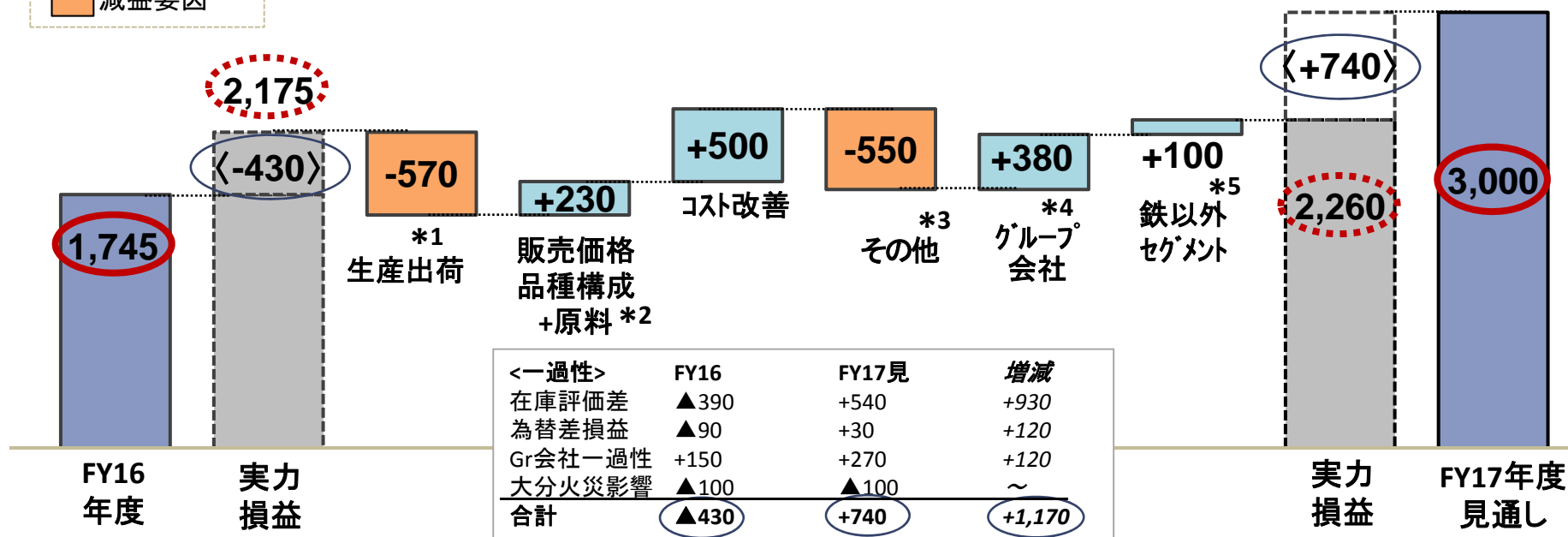
*2 キャリーオーバー影響含む

*3 為替フロー: -80、償却費増、営業外資産売却減等

*4 原料権益、日新製鋼、海外事業会社等

*5 エンジニアリング-8、化学+95、新素材+3、NSSOL+9

■ 増益要因
■ 減益要因

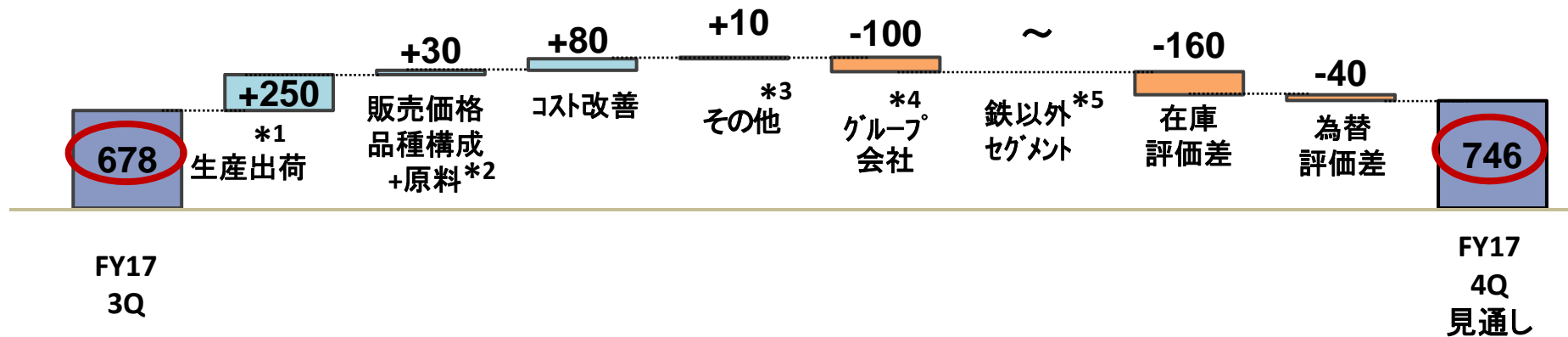


経常損益分析 (FY17/3Q→FY17/4Q見通し)

(単位:億円)	FY17/3Q [A]	FY17/4Q 見通し [B]	増減 [A→B]
経常利益	678	746	+68
製鉄	609	654	+45
鉄以外セグメント	109	109	~
調整額	-40	-16	+24

- *1 粗鋼+72万トン程度(1,008→1,080程度)
出荷+81万トン程度(939→1,020程度)
- *2 キャリーオーバー影響含む
- *3 為替フロー: ~
- *4 海外事業会社等
- *5 エンジニアリング-17、化学-23、新素材+1、NSSOL+43

■ 増益要因
■ 減益要因

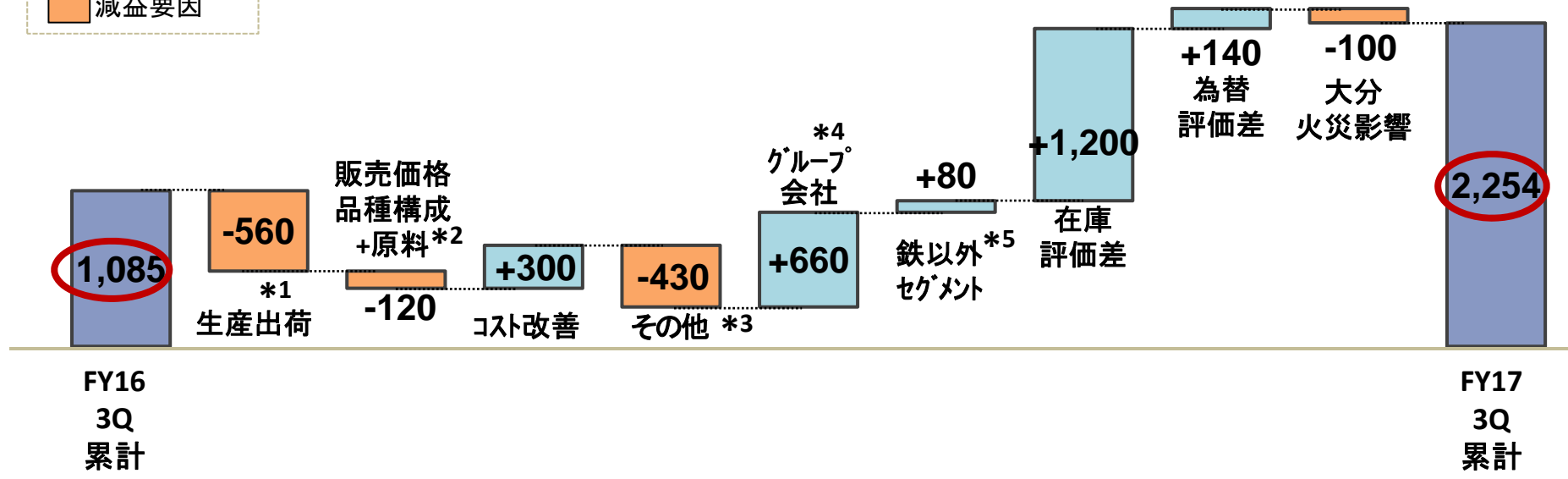


経常損益分析 (FY16/3Q累計→FY17/3Q累計)

(単位: 億円)	FY16/3Q 累計 [A]	FY17/3Q 累計 [B]	増減 [A→B]
経常利益	1,085	2,254	+1,169
製鉄	819	1,897	+1,078
鉄以外セグメント	258	342	+84
調整額	7	15	+8

- *1 粗鋼-218万トン (3,234→3,017)
出荷-186万トン (2,997→2,812)
*上記、生産出荷量は大分厚板火災影響含み。
但し、影響額は「大分火災影響」に切り出し。
- *2 キャリーオーバー影響含む
- *3 為替フロー: -80、償却費増等
- *4 日新製鋼、原料権益会社、海外事業会社等
- *5 エンジニアリング+2、化学+89、新素材+2、NSSOL-11

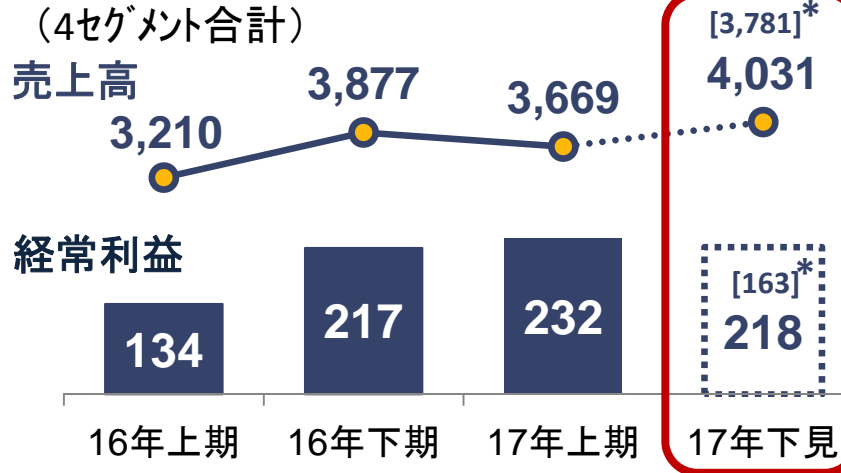
■ 増益要因
■ 減益要因



製鉄以外セグメント概況

売上高・経常利益推移

(単位:億円)



2017年度 経常損益動向 (前年度対比)

エンジニアリング事業	↓ 減益	: 原油価格低迷や海外鉄鋼メーカーの投資手控え等の影響により減益見通し。
化学事業	↑ 増益	: 化学品の市況改善や機能材料・コードルコース販売増等により増収増益の見通し。
新素材事業	↑ 増益	: 表面処理銅ワイヤ・金属箔など電子産業部材や炭素繊維の需要堅調により増収増益。
システムソリューション事業	↑ 増益	: 販管費増を見込むも、業務ソリューションの好調により増収増益の見通し。

(単位:億円)

エンジニアリング事業	2016年度		2017年度見通し	
	1~3Q		1~3Q	(対前年度)
売上高	1,868	2,675	2,052	2,900 (+225)
経常利益	46	68	48	60 (-8)

化学事業	2016年度		2017年度見通し	
	1~3Q		1~3Q	(対前年度)
売上高	1,252	1,742	1,516	2,000 (+258)
経常利益	40	45	129	140 (+95)

新素材事業	2016年度		2017年度見通し	
	1~3Q		1~3Q	(対前年度)
売上高	260	345	277	380 (+35)
経常利益	13	17	15	20 (+3)

システムソリューション事業	2016年度		2017年度見通し	
	1~3Q		1~3Q	(対前年度)
売上高	1,589	2,325	1,682	2,420 (+95)
経常利益	158	221	147	230 (+9)

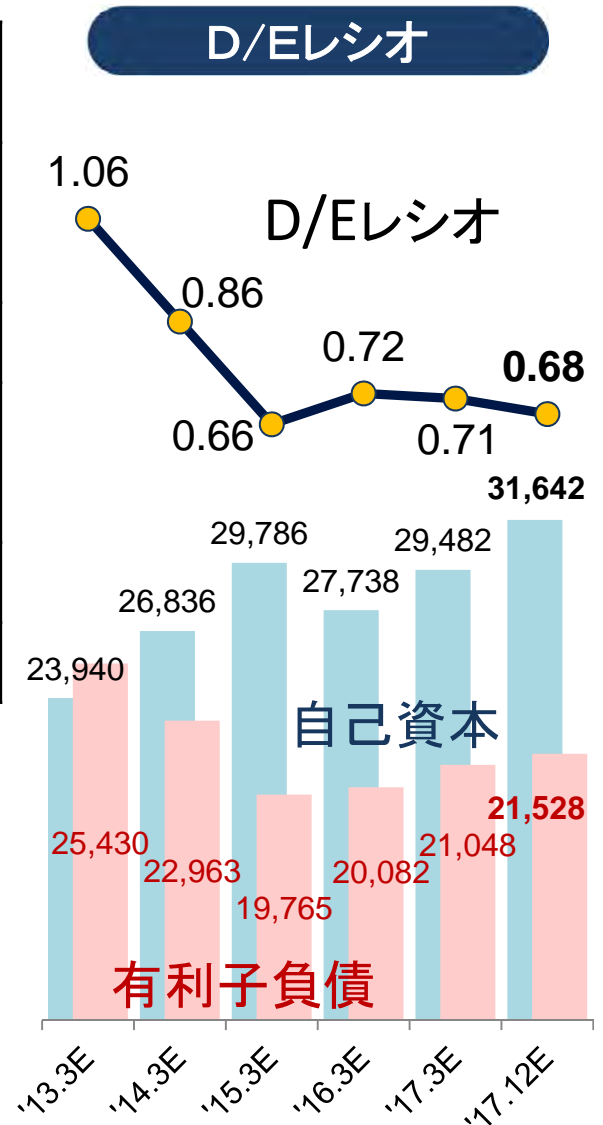
* []は前回(10/27)公表値

貸借対照表

(億円)	2017年 3月末	2017年 12月末	(億円)	2017年 3月末	2017年 12月末
流動資産合計	22,444	24,037	負債合計	39,709	41,018
たな卸資産	12,156	13,959	有利子負債	21,048	21,528
固定資産合計	50,174	52,239	純資産合計	32,910	35,259
有形固定資産	28,408	28,753	自己資本	29,482	31,642
投資有価証券	8,163	9,487	評価差額金*	2,692	3,637
関係会社株式	10,413	10,671	非支配株主持分	3,427	3,616
資産合計	72,619	76,277	負債純資産合計	72,619	76,277

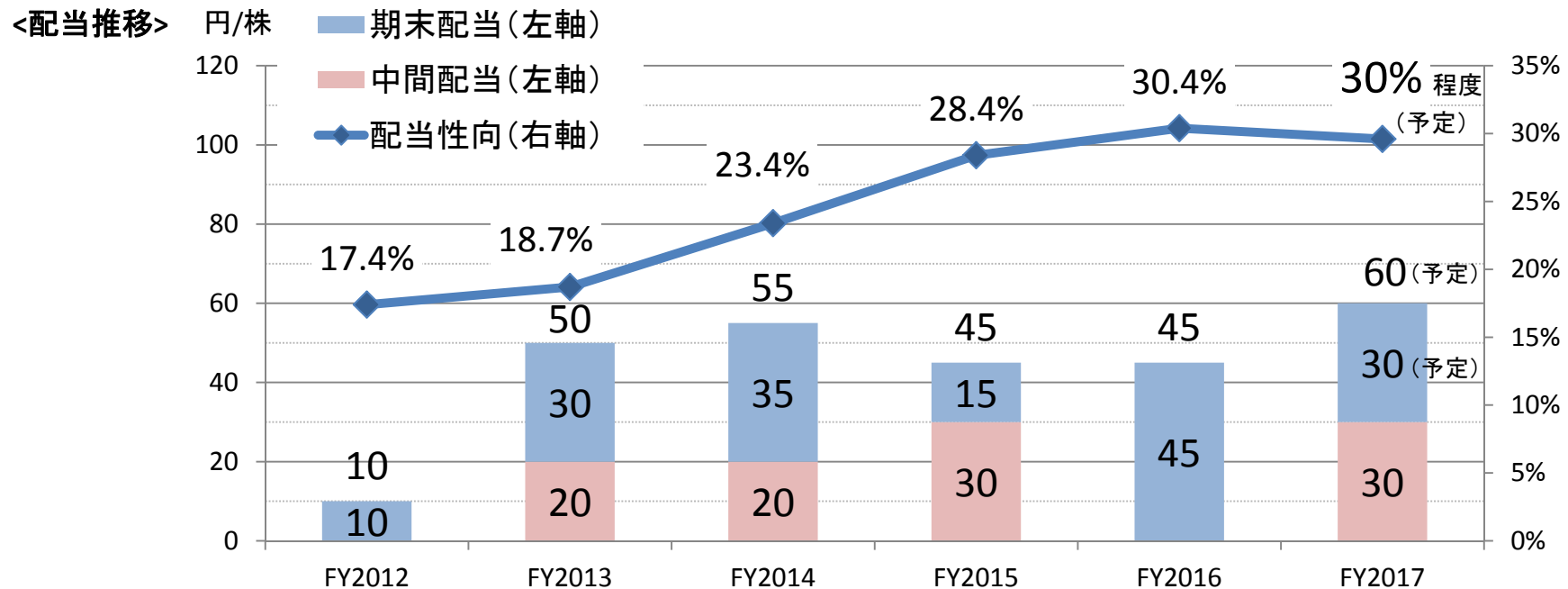
	2017年3月末	2017年12月末	増減
総資産 (億円)	72,619	76,277	+3,658
有利子負債(〃)	21,048	21,528	+479
自己資本 (〃)	29,482	31,642	+2,160
D/Eレシオ (倍)	0.71	0.68	-0.03

* その他有価証券評価差額金



当期末の剰余金の配当

当期末の剰余金の配当については、第2四半期決算発表時(10/27)では未定としておりましたが、既公表の配当方針に従い、当期の業績見通し等を踏まえ、1株につき30円とさせていただきます。(年間配当:1株につき60円、連結配当性向30%程度)



<剰余金の配当等の決定に関する方針>

当社は、業績に応じた利益の配分を基本として、企業価値向上に向けた投資等に必要な資金所要、先行きの業績見通し、連結及び単独の財務体質等を勘案しつつ、第2四半期末及び期末の剰余金の配当を実施する方針と致しております。

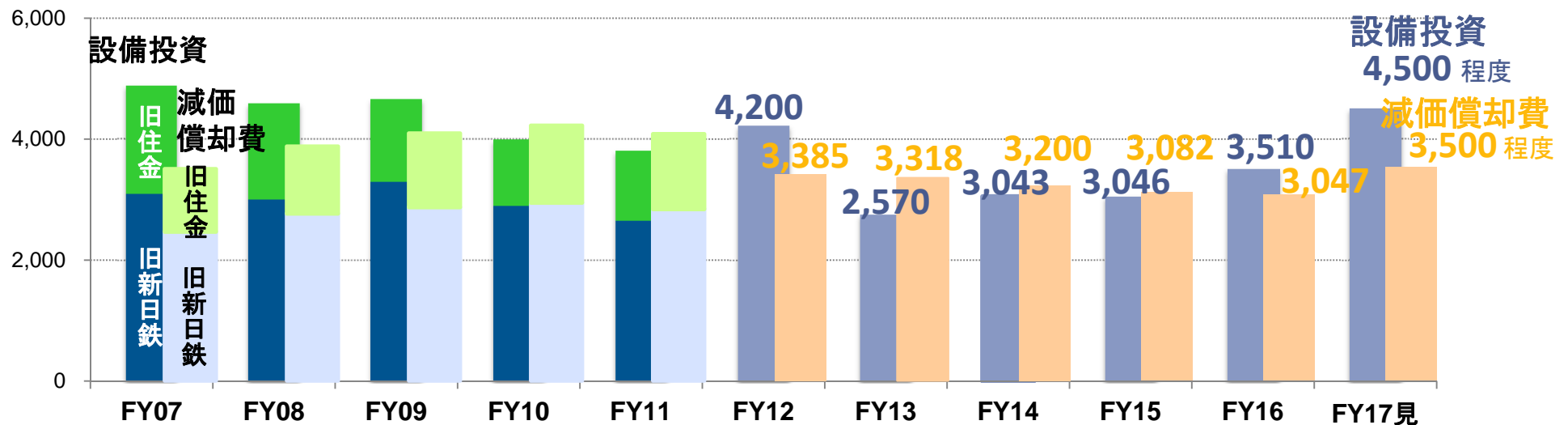
「業績に応じた利益の配分」の指標としては、連結配当性向年間20～30%を目安と致します。

※2015年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施したため、2012年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり配当額を算定

設備投資・減価償却費

(単位:億円)

新日鐵住金 (上段:新日鉄 下段:住金)	FY07	FY08	FY09	FY10	FY11	FY12	FY13	FY14	FY15	FY16	FY17見
設備投資 <工事ベース>	4,900 (3,100) (1,788)	4,600 (3,000) (1,591)	4,650 (3,300) (1,366)	4,000 (2,900) (1,099)	3,800 (2,650) (1,157)	4,200	2,570	3,043	3,046	3,510	4,500 程度 (内、日新製鋼 410程度)
減価償却費	3,465 (2,440) (1,025)	3,835 (2,737) (1,098)	4,048 (2,840) (1,208)	4,177 (2,915) (1,262)	4,038 (2,809) (1,229)	3,385	3,318	3,200	3,082	3,047	3,500 程度 (内、日新製鋼 360程度)

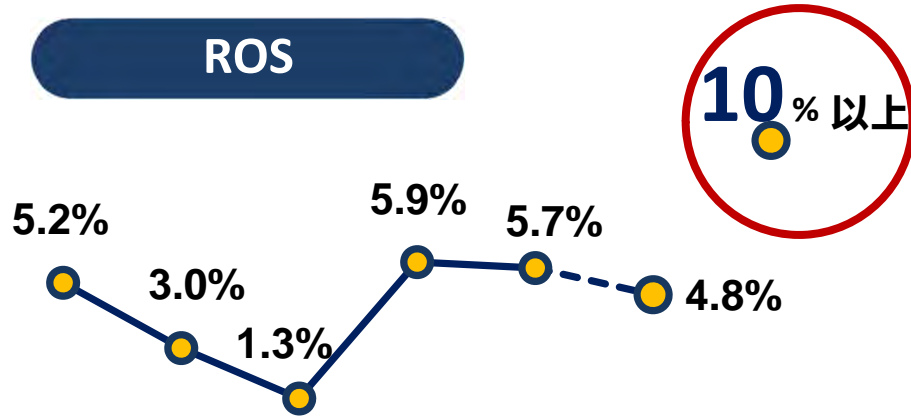


※ 設備投資：FY07～12の新日鐵住金は、新日鉄と住金の合算値を50億円単位で四捨五入

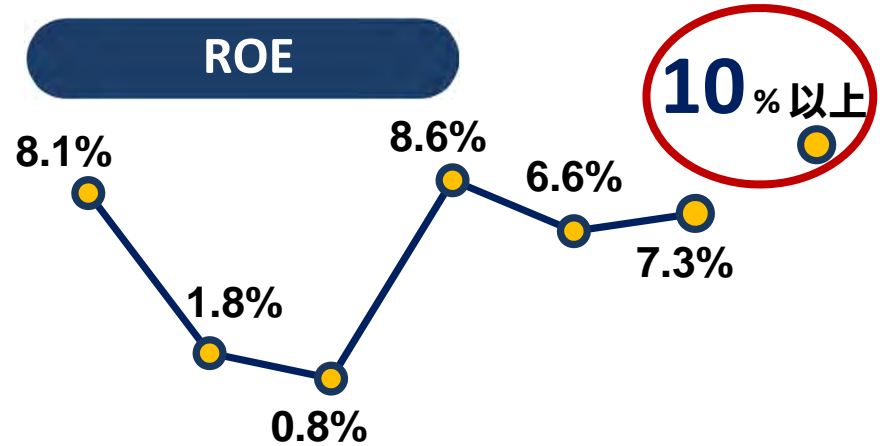
2. 中期経営計画の進捗状況

中期経営計画 進捗状況： 定量的指標

ROS



ROE



コスト改善 (億円)



D/Eレシオ



中期経営計画 進捗状況： 主要計画進捗

社名／製造所		内容	FY15 2H	FY16	FY17	FY18 以降
マザーミルの強化	君津	第3高炉休止		★3月		
	八幡	鉄源最適生産体制構築				★ FY18～20予定
	鹿島・君津・室蘭	コークス炉リフレッシュ	(鹿/1F) 8月	★ ★ ★ (君/第4A) 8月	(君/第4B) 1月	★ ★ ★ (鹿/2E) FY18.4 (君/第5) FY18.2H (室/第5) FY19.1H 予定 予定 予定
	日新製鋼 呉	第1高炉改修・第2高炉休止				★ FY23予定
グローバル事業強化	ICI (米国: クランクシャフト/鍛造プレスライン新設)	第4ライン商業生産開始	★10月			
	NSCh (中国: 自動車向線材/NBC中国の能力増強)	稼働開始	★12月			
	VSB・VBR統合 (伯: 鋼管/ハローレックの100%子会社との統合)	経営統合		★10月		
	AGIS (UAE: 建材薄板/第2溶融亜鉛めっきライン)	第2溶融亜鉛めっきライン 商業生産開始		★10月		
	VAM® BRN (ブルネイ: 鋼管/住友商事とのJV)	稼働開始		★11月		
	WTC (米国: 電線管/Wheatland Tube社へ売却)	株式売却契約締結		★12月		
	KOS (インドネシア: 建材/大阪製鐵とPTKSとのJV)	商業生産開始		★1月		
	KNSS (インドネシア: 自動車鋼板/PTKSとのJV)	商業生産開始			★7月	
	NSCI (米国: 自動車用線材/二次加工メーカーとのJV)	稼働開始予定			★ FY17予定	
	NS BlueScope (タイ: 建材薄板/第3溶融めっきラインの新設)	第3溶融めっきライン新設				★ FY18予定

ESGトピックスー Environment ー



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに

13 気候変動に
具体的な対策を



ベトナムでコークス 乾式消火設備(CDQ) 2基を受注 (Coke Dry Quenching) (2017年10月)

- ✓ 蒸気として回収した排熱を発電に利用
- ✓ NSENGI累計海外CDQ設置数 97基
CO2削減効果 1,820万t/年-97基
- ✓ ダストの放出抑制による大気汚染防止



11 住み続けられる
まちづくりを

12 つくる責任
つかう責任

塗装周期延長鋼 コルスペース® 沖縄県で初採用 (2018年1月)

- ✓ 国内で最も塩害環境の厳しい沖縄の
牧港高架橋に採用
- ✓ 塗装頻度削減による環境負荷軽減
- ✓ ライフサイクルコスト低減

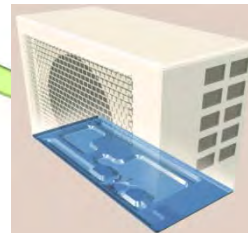


11 住み続けられる
まちづくりを

12 つくる責任
つかう責任

パナソニック株式会社 ECO・VC賞金賞 8年連続受賞 (2017年12月)

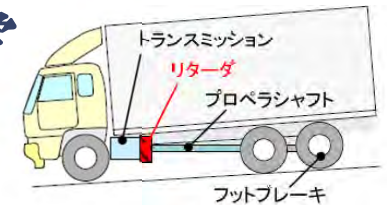
- ✓ スーパーダイマ®を原板とした
高耐食性塗装鋼板の開発
- ✓ 塗装工程プロセス省略を実現



11 住み続けられる
まちづくりを

13 気候変動に
具体的な対策を

ものづくり日本大賞 特別賞 (2018年1月)



- ✓ 永久磁石式小型軽量の
補助ブレーキ装置(リターダ)の開発
- ✓ 燃費向上、排ガス規制対応

ESGトピックスー Social ー



女性活躍推進

～24時間対応自社保育所の拡充～

- ✓ 交替職場で働く社員のニーズに対応
- ✓ 大分、君津、八幡の3箇所
24時間対応可能な自社保育所を設置
(2018年1月より大分で24時間保育を開始)
- ✓ 今後、他エリアにも保育所設置予定



大分どんぐりのもり保育園



官民連携での 釜石復興支援

■上中島こども園、すくすく親子教室、 上中島児童館 3施設の一体整備

(2018年1月竣工)

- ✓ 利便性に富んだ包括的な保育環境を創出
- ✓ 多様化する保育ニーズや保護者の就業形態に対応

■上中島復興公営住宅

- ✓ 早期整備を実現する鋼構造の採用 NSスーパーフレーム工法:短工期、耐久性、経済性
- ✓ 計210戸竣工 第1期54戸(2013年3月)、第2期156戸(2015年2月)



日鐵住金建材株式会社

インドネシアで 津波避難タワー竣工

(2017年12月開所)



- ✓ 海外初案件
- ✓ 国内での津波
避難タワー実績多数
(竣工済み27基、
現在建設中5基)



新日鐵住金

NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL

3. 参考データ

主要需要分野の活動水準

〔国内〕		FY16 年度	FY17							差異				
			2Q	上期	*2 3Q	*2 4Q 見通し	*2 下期 見通し	*3 [前回 年度 見通し]	*2 年度 見通し	17/2Q → 17/3Q	17/3Q → 17/4Q見	17/上 → 17/下見	16年 → 17年見	17年見 (前回) → 17年見
建設	住宅着工戸数 (万戸)	97	25	50	23	20	44	[93]	93	-1	-3	-6	-4	~
	非住宅着工面積 (万㎡)	5,133	1,405	2,795	1,325	1,250	2,575	[5,290]	5,370	-80	-75	-220	+237	+80
	公共工事受注*1 (10億円)	10,790	2,958	4,877	2,780	3,343	6,123	[11,000]	11,000	-178	+563	+1,246	+210	~
自動車	完成車生産台数 (万台)	936	237	467	249	254	503	[960]	970	+12	+5	+36	+34	+10
	完成車輸出台数 (万台)	464	119	231	130	128	258	[486]	489	+11	-2	+27	+25	+3
	海外生産(8社) (万台)	1,890	474	948	490					+16				
産業機械	大中型ショベル (千台)	66	20	40	19	19	38	[71]	78	-1	~	-2	+12	+7
	金属工作機械 (千ト)	366	113	215	107	107	215	[401]	429	-6	~	+0	+63	+28
造船	新造船起工 (万グロスト)	1,251	300	610	300	300	600	[1,155]	1,210	~	~	-10	-41	+55

リグカウント状況	CY09	CY10	CY11	CY12	CY13	CY14	CY15	CY16	CY17	直近	直近ピーク	直近ボトム
米国	1,089	1,546	1,875	1,919	1,761	1,862	977	510	875	924 ('18/1)	2,031 ('08/9/12)	404 ('16/5/20)
深井戸(≥15,000ft)	249	249	395	324	326	354	205	126	211	211 ('17/11)	413 ('11/11)	98 ('16/5)
北米・露・中を除く世界	997	1,094	1,167	1,234	1,296	1,337	1,167	955	948	954 ('17/12)	1,382 ('14/7)	920 ('16/10)

(出所:各種統計資料・当社推定) *1 建設工事受注動態統計の公共工事受注額

*2 12月上旬見込み値

*3 前回(10/27)公表値



新日鐵住金

NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL

国内主要需要分野の鋼材消費

(単位:万ト)	FY16 年度	FY17							差異				
		2Q	上期	3Q	4Q* ² 見通し	下期* ² 見通し	[前回* ¹ 見通し]	年度* ² 見通し	17/2Q → 17/3Q	17/3Q → 17/4Q見	17/上 → 17/下見	16年 → 17年見	17年見 (前回) → 17年見
全国粗鋼生産量	10,517	2,594	5,204	2,639	2,640	5,279		10,483 程度	+45	+1			
国内鋼材消費	6,167	1,569	3,104	1,612	1,561	3,173	[6,250]	6,277	+43	-51	+68	+110	+27
製造業比率 (%)	63.7	63.7	63.8	63.3	63.5	63.4	[62.5]	63.6	-0.4	+0.2	-0.4	-0.1	+1.1
普通鋼鋼材消費	4,900	1,242	2,458	1,278	1,246	2,524	[4,961]	4,982	+36	-32	+65	+82	+21
建設	2,157	547	1,080	569	547	1,115	[2,231]	2,195	+21	-22	+35	+39	-36
製造業	2,743	694	1,378	709	699	1,408	[2,729]	2,786	+15	-10	+30	+43	+57
ウチ、造船	433	102	205	101	99	200	[392]	405	-1	-2	-5	-28	+13
ウチ、自動車	1,095	279	550	290	282	571	[1,122]	1,122	+10	-8	+21	+26	~
ウチ、産業機械	458	125	248	124	125	249	[466]	497	-1	+1	+1	+39	+31
ウチ、電気機械	297	77	150	76	76	151	[288]	302	-1	~	+1	+5	+14
特殊鋼鋼材消費	1,267	328	646	334	315	649	[1,290]	1,295	+6	-19	+3	+28	+5
鋼材輸入	645	165	337										
鋼材輸出	4,047	926	1,862										

(出所:各種統計資料・当社推定)

*1 前回(10/27)公表値

*2 12月上旬見込み値



新日鐵住金

NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL

世界の経済成長率推移

<2018年1月22日IMF改定値>

前回(2017.10.10)

	CY08	CY09	CY10	CY11	CY12	CY13	CY14	CY15	CY16	CY17 見通し	CY18 見通し	CY19 見通し
世界合計	3.0	-0.5	5.3	3.9	3.4	3.4	3.4	3.4	3.2	[3.6] 3.7	[3.7] 3.9	[3.7] 3.9
先進諸国	0.5	-3.4	3.2	1.7	1.2	1.4	1.9	2.1	1.7	[2.2] 2.3	[2.0] 2.3	[1.8] 2.2
米国	0.4	-2.6	3.0	1.8	2.3	2.2	2.4	2.6	1.5	[2.2] 2.3	[2.3] 2.7	[1.9] 2.5
欧州	0.6	-4.1	1.9	1.5	-0.7	-0.4	0.9	2.0	1.8	[2.1] 2.4	[1.9] 2.2	[1.7] 2.0
日本	-1.2	-6.3	4.4	-0.6	1.5	1.6	0.0	1.1	0.9	[1.5] 1.8	[0.7] 1.2	[0.8] 0.9
新興諸国	6.1	2.7	7.5	6.2	5.1	5.0	4.6	4.3	4.4	[4.6] 4.7	[4.9] 4.9	[5.0] 5.0
中国	9.6	9.2	10.4	9.3	7.7	7.7	7.3	6.9	6.7	[6.8] 6.8	[6.5] 6.6	[6.3] 6.4
インド	7.3	6.8	10.6	6.3	4.7	6.9	7.2	8.0	7.1	[6.7] 6.7	[7.4] 7.4	[7.8] 7.8
ASEAN5*	4.7	1.7	7.0	4.5	6.2	5.1	4.6	4.9	4.9	[5.2] 5.3	[5.2] 5.3	[5.3] 5.3
ロシア	5.6	-7.8	4.3	4.3	3.4	1.3	0.7	-2.8	-0.2	[1.8] 1.8	[1.6] 1.7	[1.5] 1.5
ブラジル	5.1	-0.6	7.5	2.7	1.0	2.7	0.1	-3.8	-3.5	[0.7] 1.1	[1.5] 1.9	[2.0] 2.1

(出所: IMF)

* ASEAN 5 : タイ、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム

世界の鉄鋼需要推移(鋼材見掛消費) <2017年10月16日WSA改訂値>

前回 [2017年4月21日]

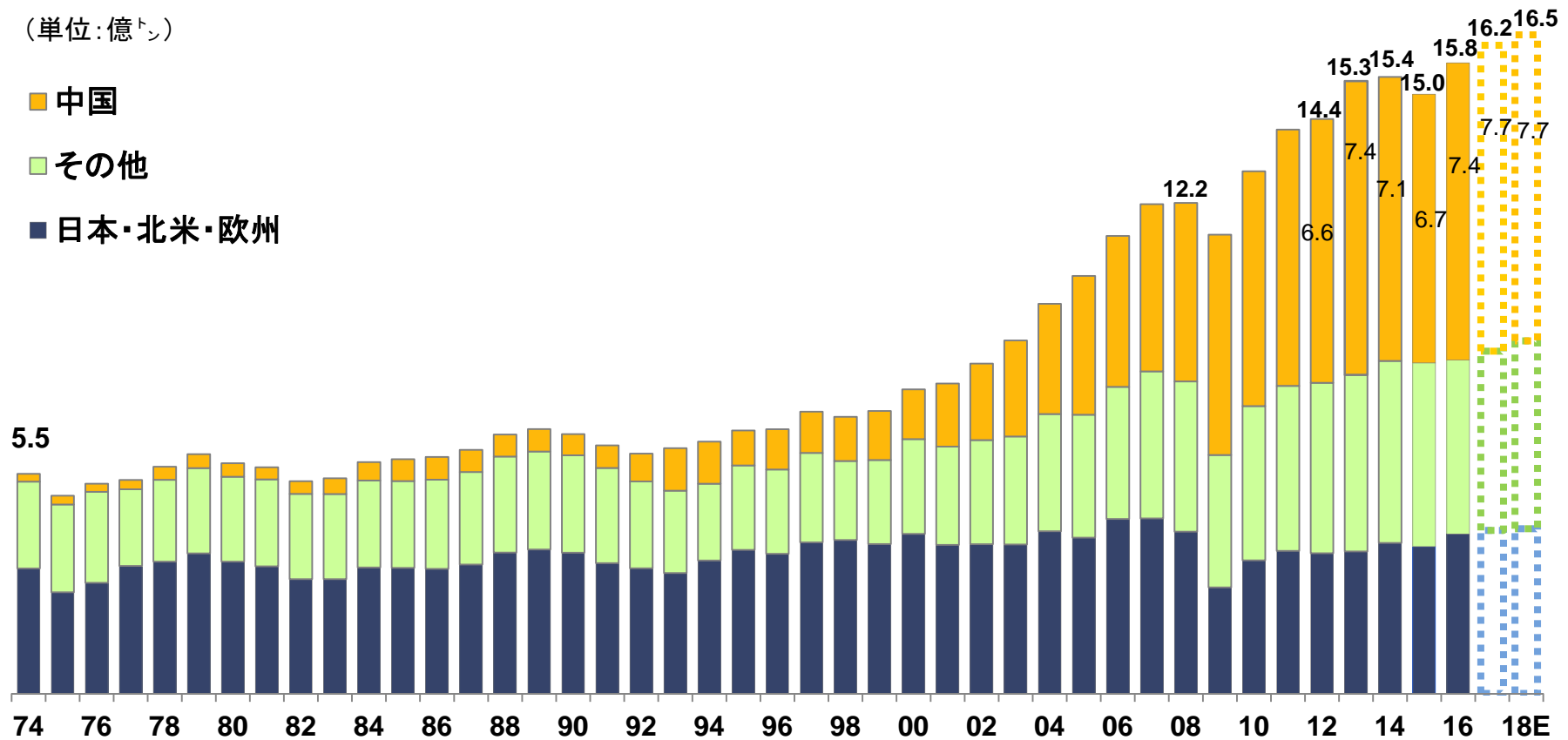
世界 合計	<12年実績>	<13年実績>	<14年実績>	<15年実績>	<16年実績> [*]	<17年予測> [*]	<18年予測> [*]
	14.4億トン	15.3億トン	15.4億トン	15.0億トン	15.78億トン ^{**} [15.15億トン] ^{**}	16.22億トン [15.35億トン]	16.48億トン [15.48億トン]

* 16年度より、地条鋼相当を含む

**差異 +0.63億トン: 地条鋼相当需要の統計内への反映等

(単位: 億トン)

- 中国
- その他
- 日本・北米・欧州



(出所: World Steel Association)

世界月別粗鋼生産量

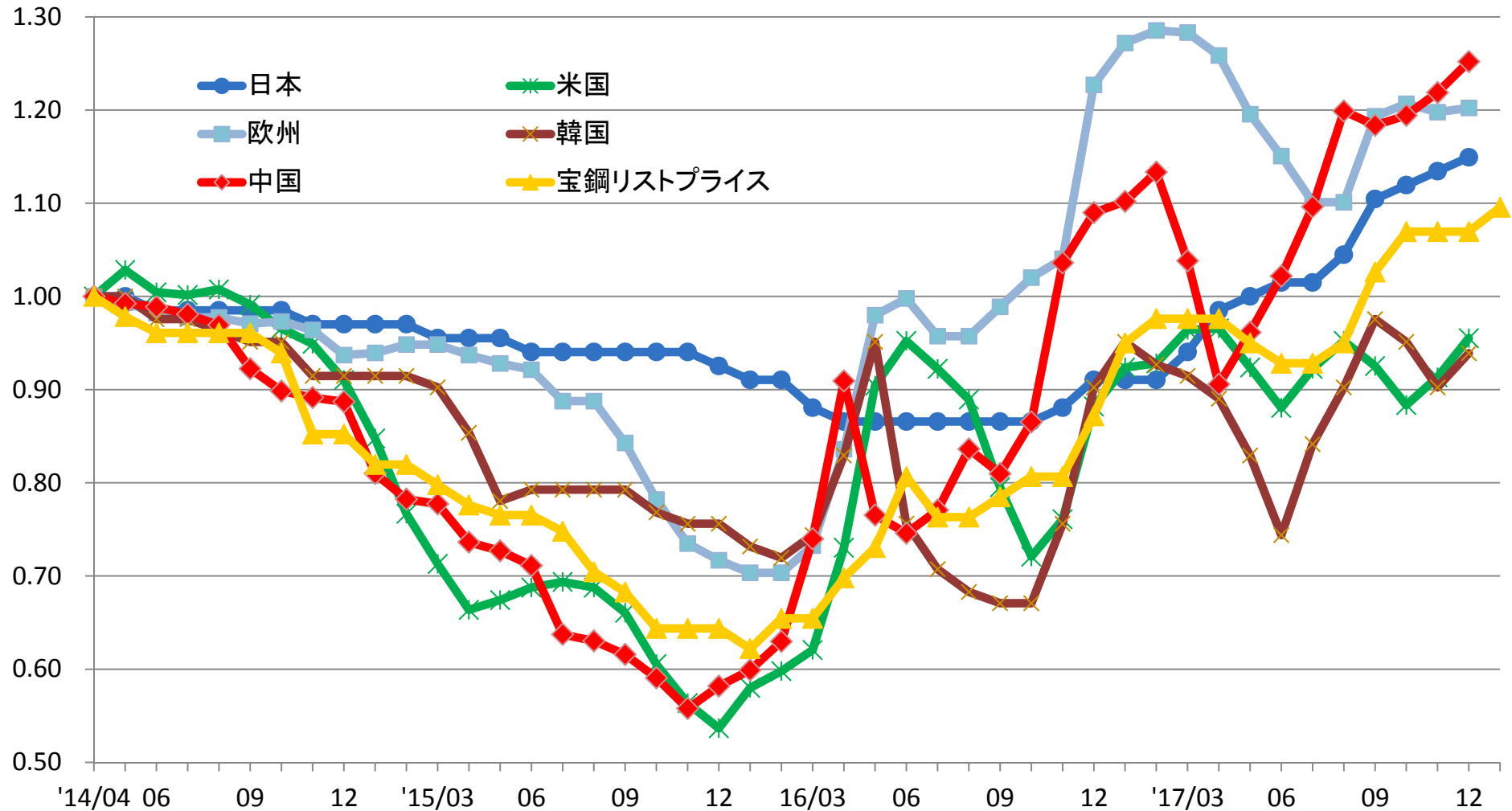
(百万トン)	CY16 [A]	CY17						差異 (A → B)
		1-9	10	11	12	10-12	[B]	
世界計* [前年同期比]	1,587.2 [-0.7%]	1,268.6 [5.4%]	144.8 [5.6%]	136.5 [3.9%]	138.1 [3.9%]	419.4 [4.5%]	1,691.2 [5.3%]	+104.0 [6.0%]
日本 [前年同期比]	104.8 [-0.4%]	78.3 [-0.1%]	9.0 [-1.0%]	8.7 [1.0%]	8.7 [0.1%]	26.4 [0.0%]	104.7 [-0.1%]	-0.1 [0.2%]
韓国 [前年同期比]	68.6 [-1.6%]	53.1 [4.0%]	6.0 [0.2%]	5.9 [2.8%]	6.1 [4.5%]	18.0 [2.5%]	71.1 [3.7%]	+2.5 [5.2%]
米国	78.5	61.4	6.9	6.6	6.8	20.3	81.6	+3.2
EU28	162.0	126.3	14.8	14.0	13.6	42.4	168.7	+6.7
ロシア	70.5	53.7	5.9	5.7	5.9	17.6	71.3	+0.9
ブラジル	31.3	25.5	3.0	3.0	2.8	8.9	34.4	+3.1
インド	95.5	75.5	8.7	8.4	8.8	25.9	101.4	+5.9
中国 [前年同期比]	786.9 [-2.1%]	639.5 [5.5%]	72.4 [6.1%]	66.2 [2.2%]	67.0 [1.8%]	205.6 [3.4%]	831.7 [5.7%]	+44.9 [7.8%]

(出所 : World Steel Association)

* 世界66カ国の合計値

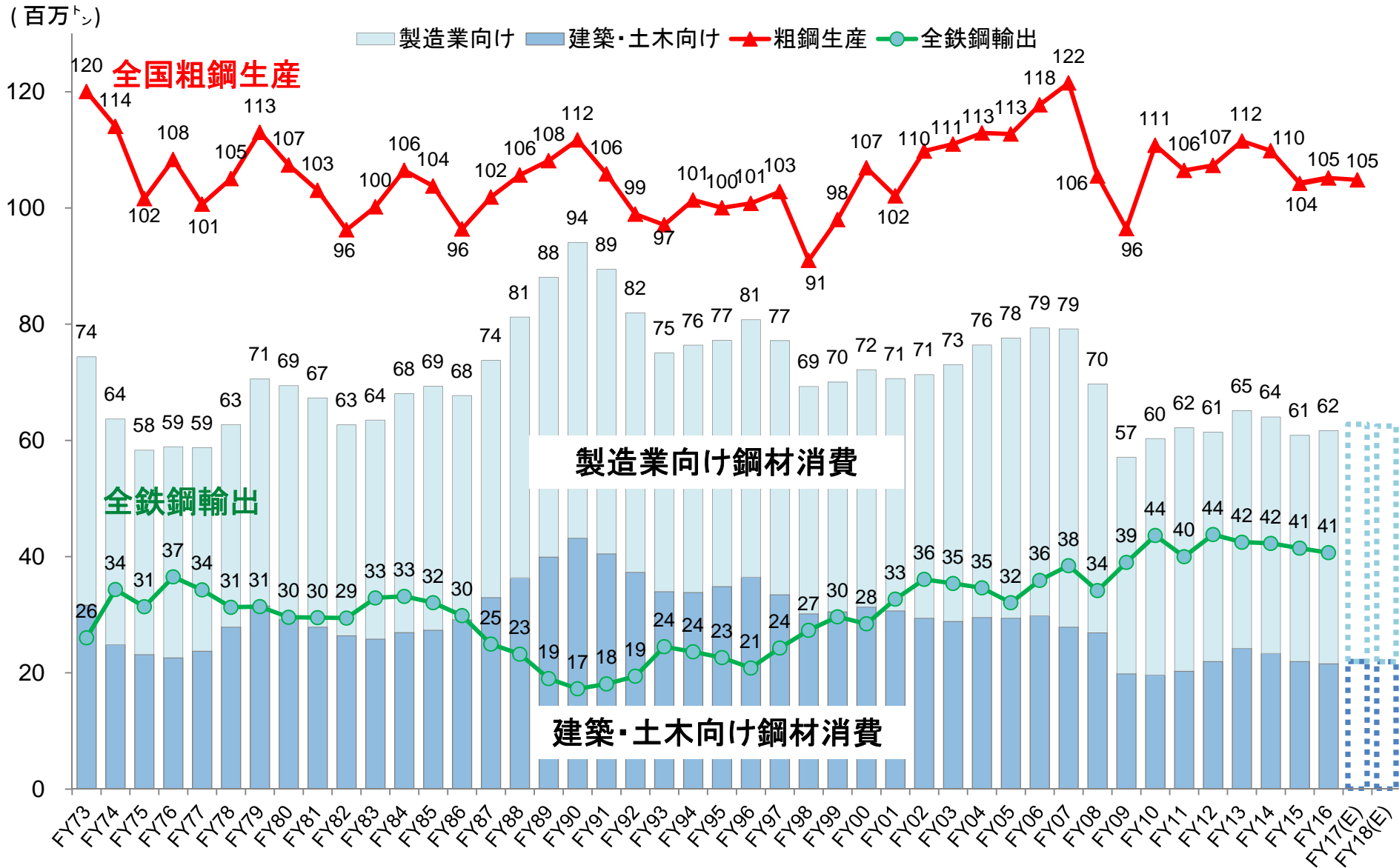
世界各国ホットコイル市況推移

(2014年4月各現地通貨ベースホットコイル価格=1.0)



(出所: 日本鉄鋼連盟等データより当社作成)

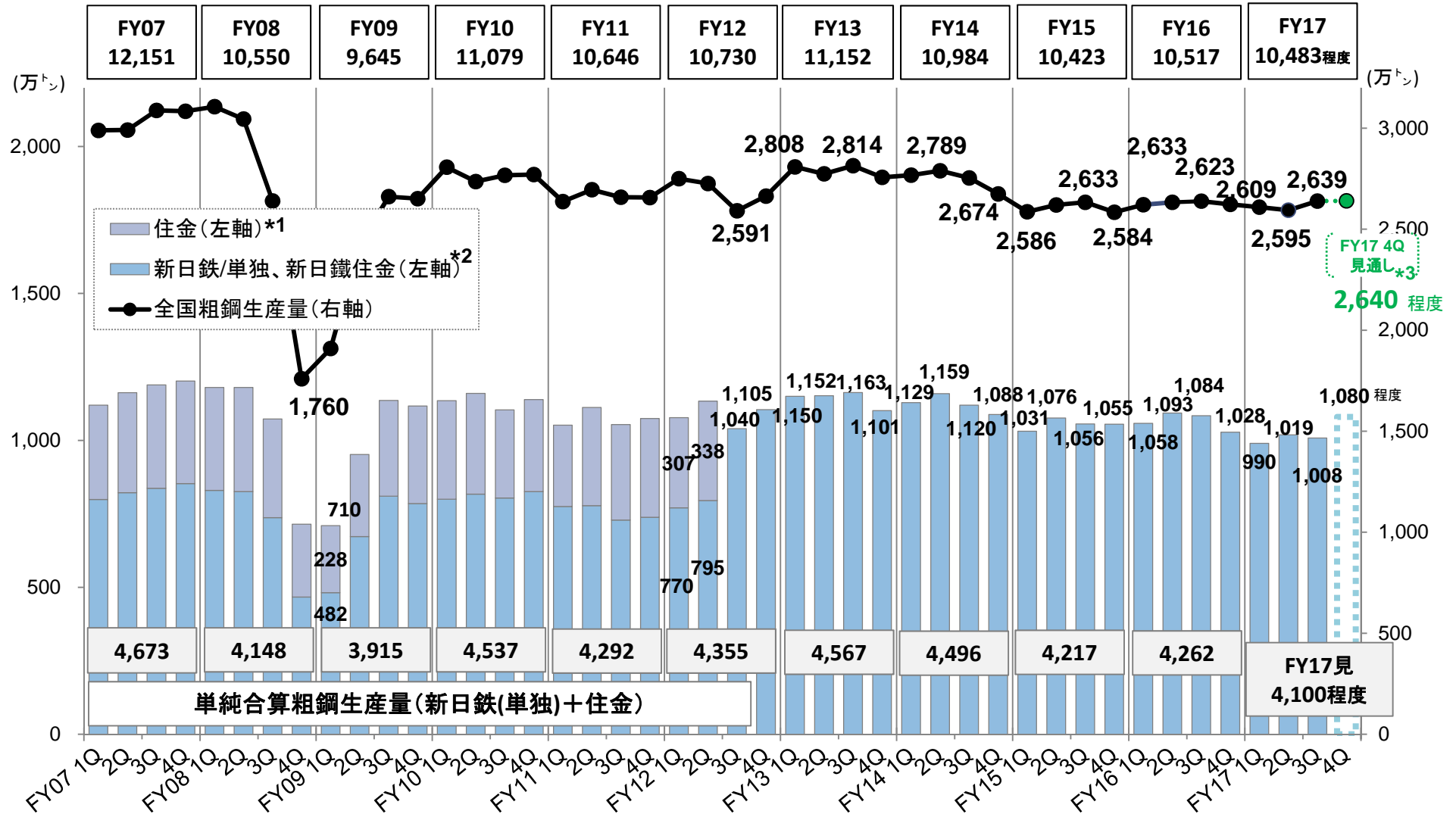
国内鋼材消費推移



(出所:各種統計資料・当社推定)

国内粗鋼生産量 四半期別推移

全国粗鋼生産量

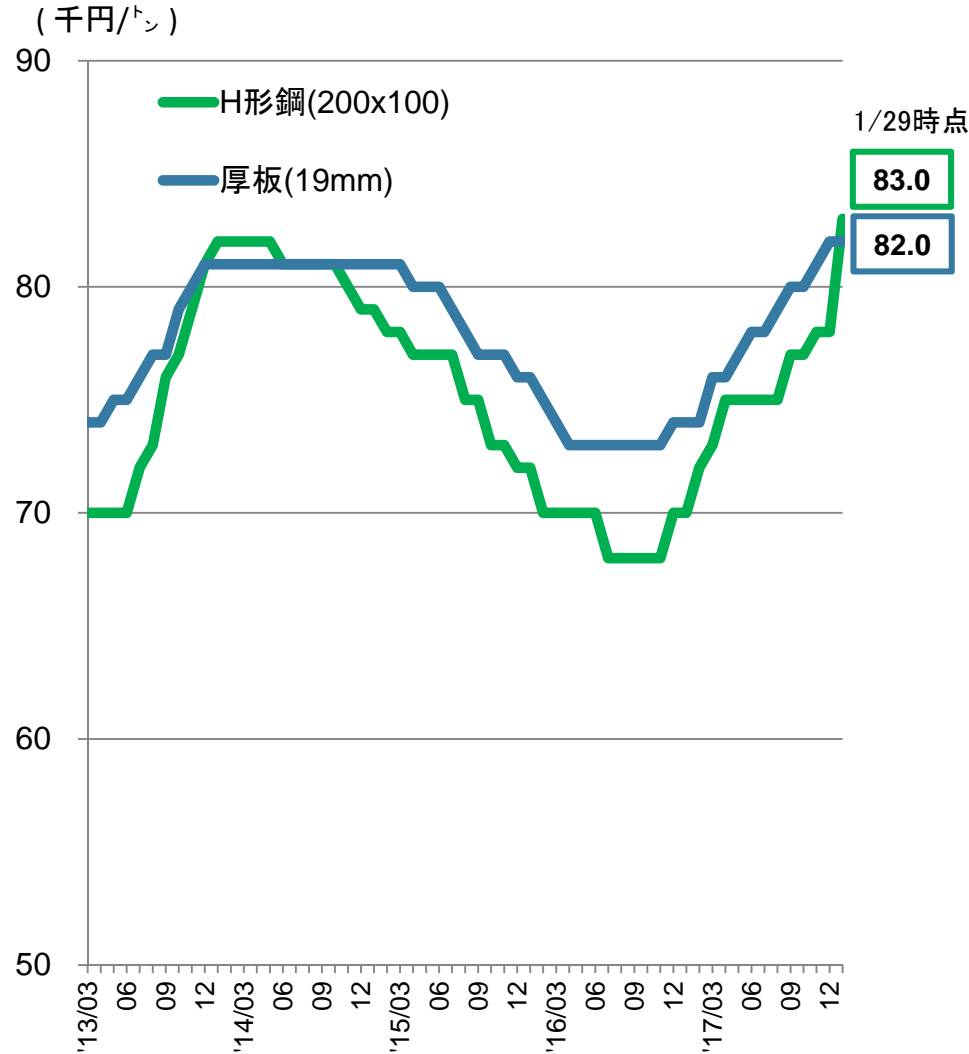


*1 住金: 旧住金小倉・住金直江津・住金鋼鉄和歌山含み *2 新日鐵住金: 日鐵住金鋼鉄和歌山含み

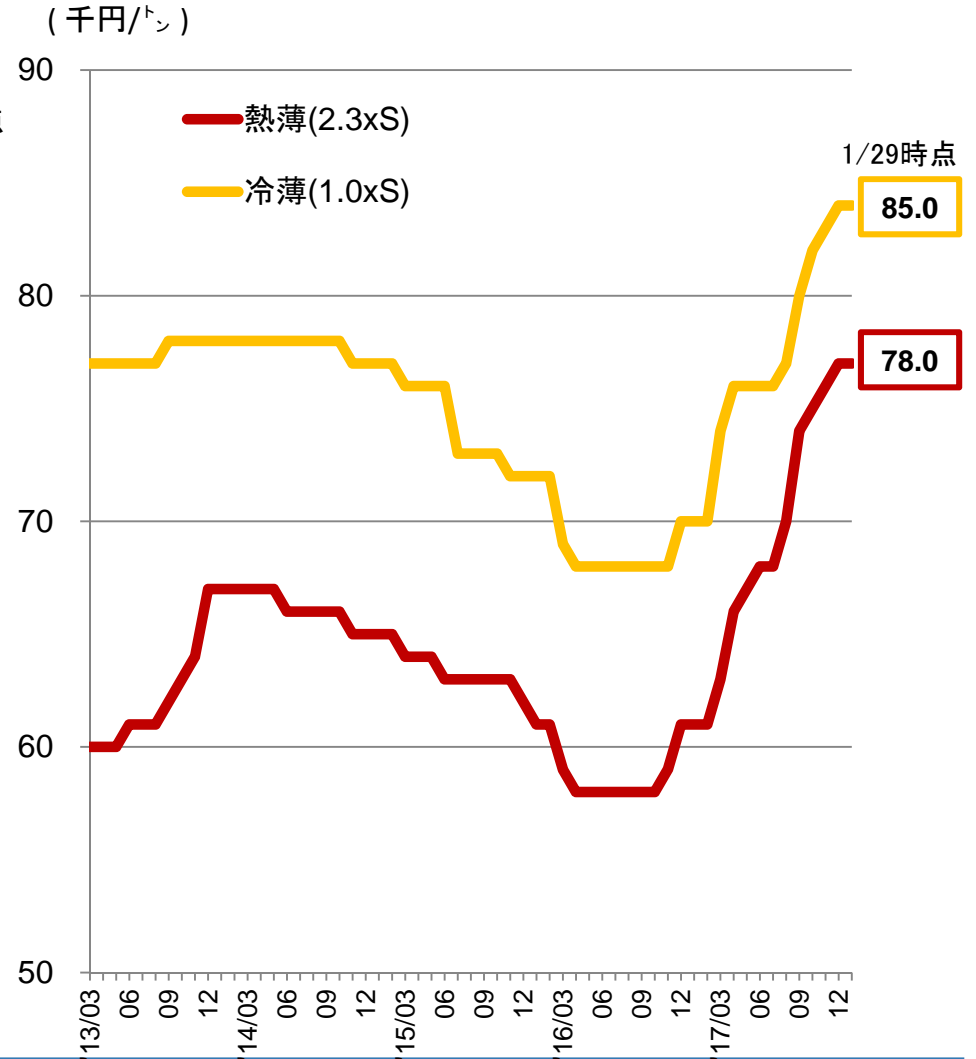
*3 經濟産業省発表 FY17.3Q鋼材需要見通し

国内鋼材市況（店頭価格）

厚板・H形鋼



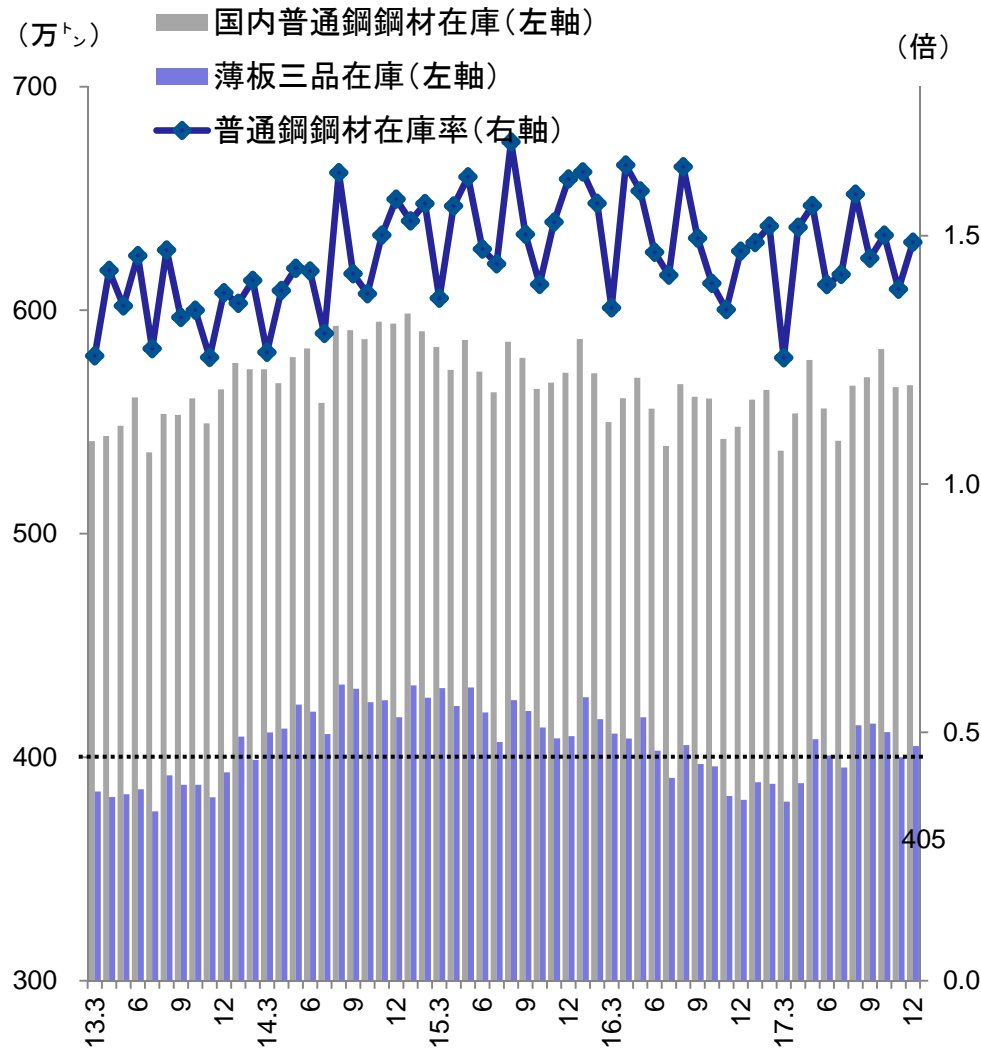
熱延・冷延



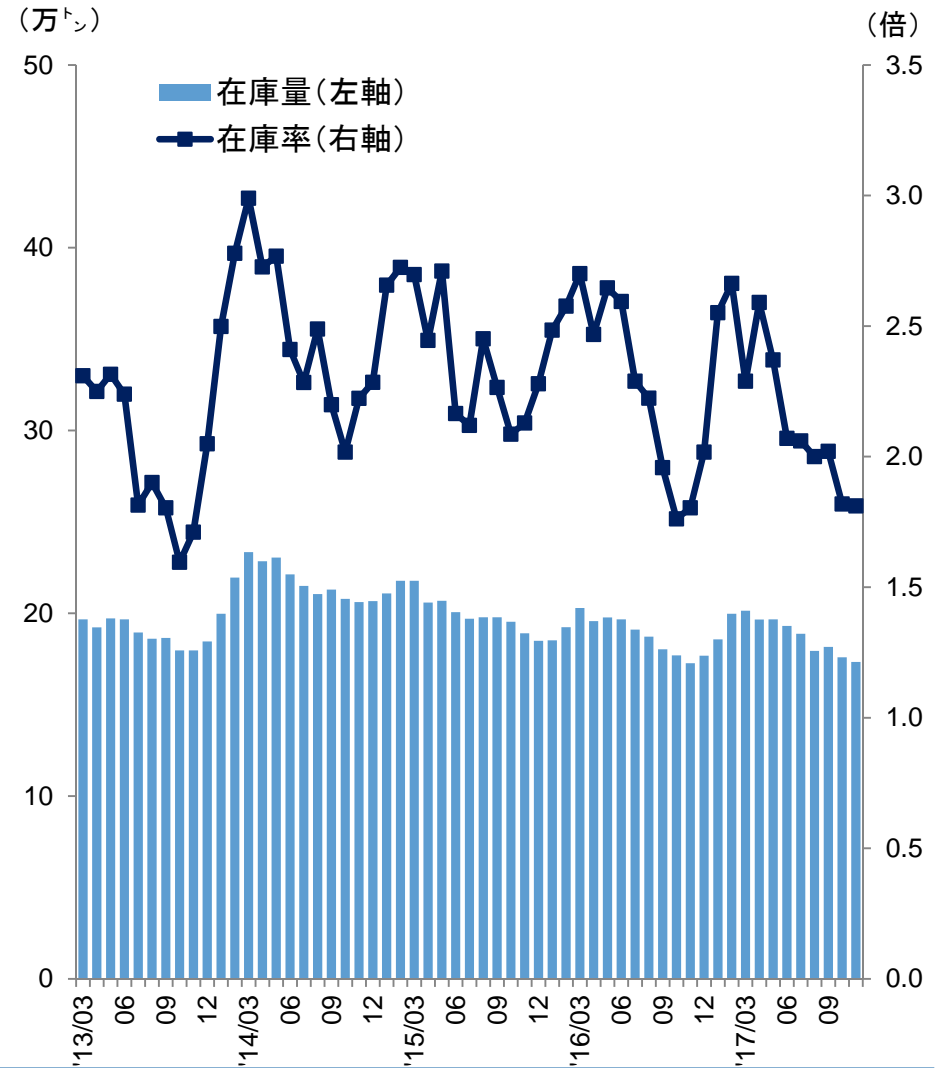
(出所: 鉄鋼新聞・月末・東京安値、問屋間仲間相場価格)

国内鋼材在庫推移

普通鋼鋼材・薄板三品在庫



ときわ会(H形鋼)在庫



(出所: 日本鉄鋼連盟)

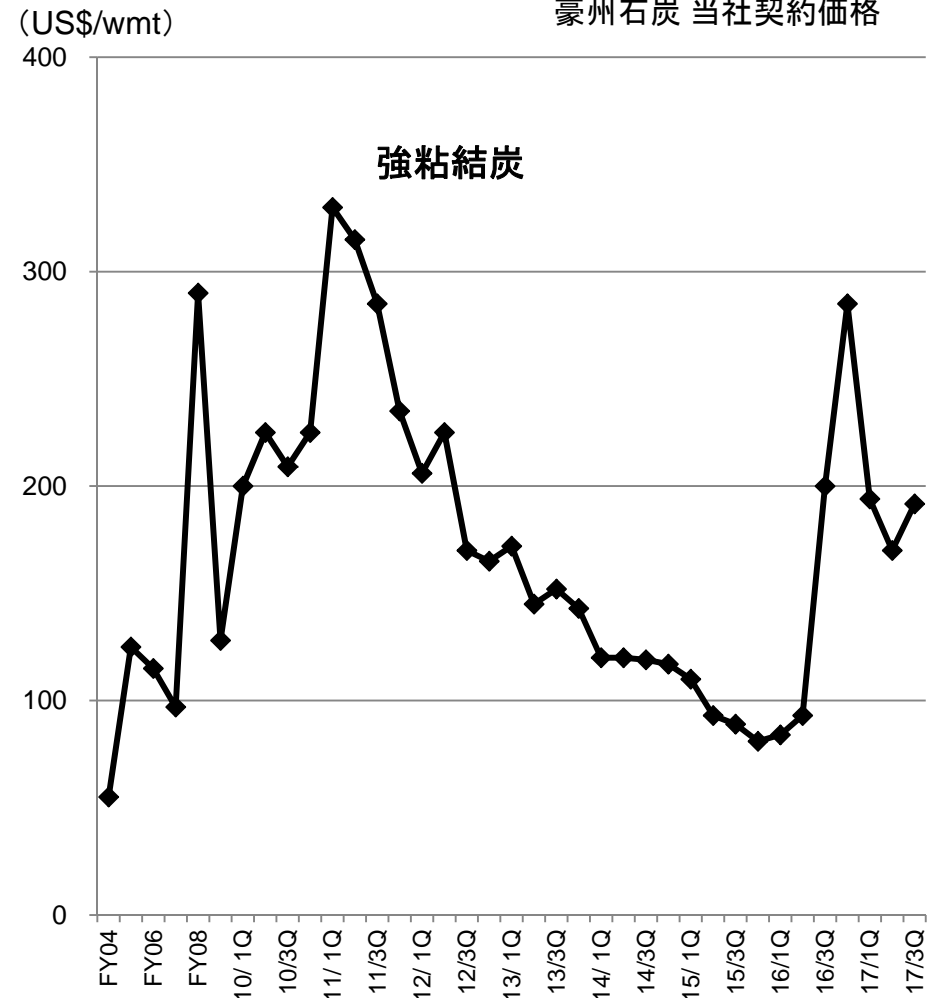
鉄鉱石

豪州鉄鉱石 当社契約価格



原料炭

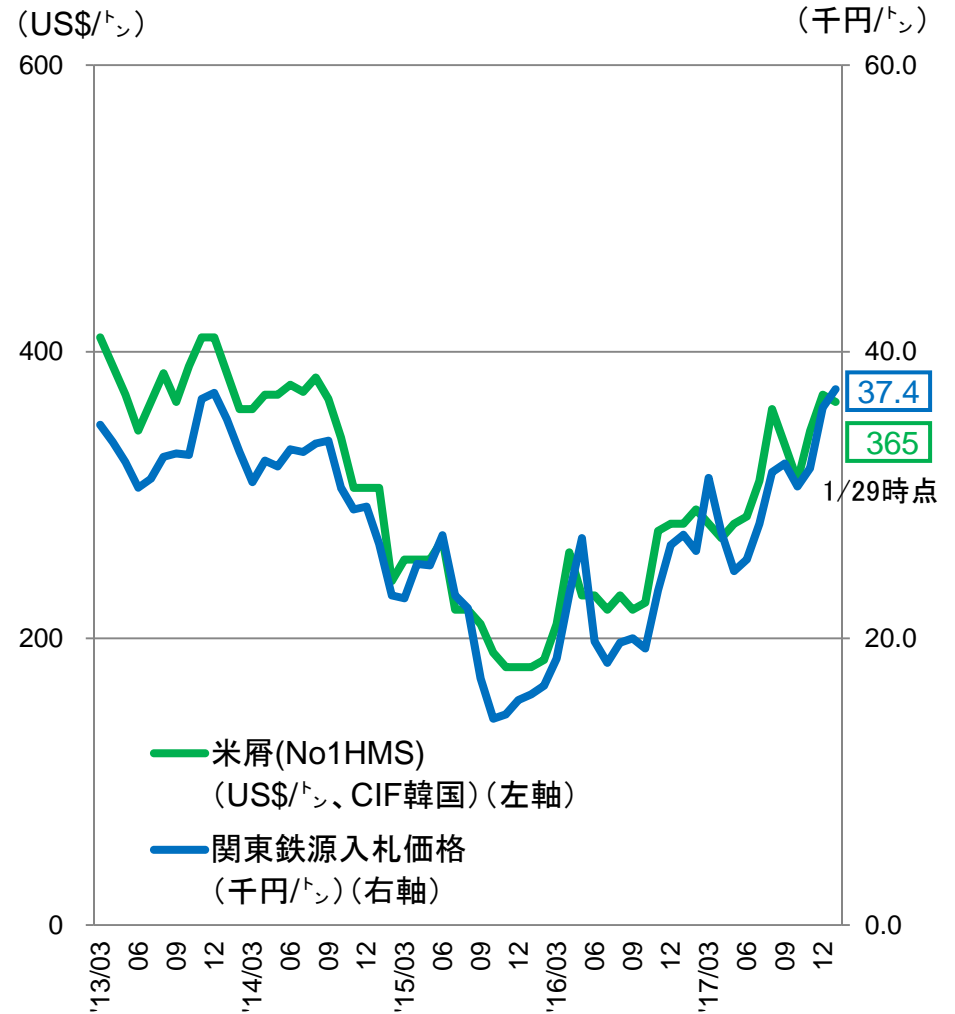
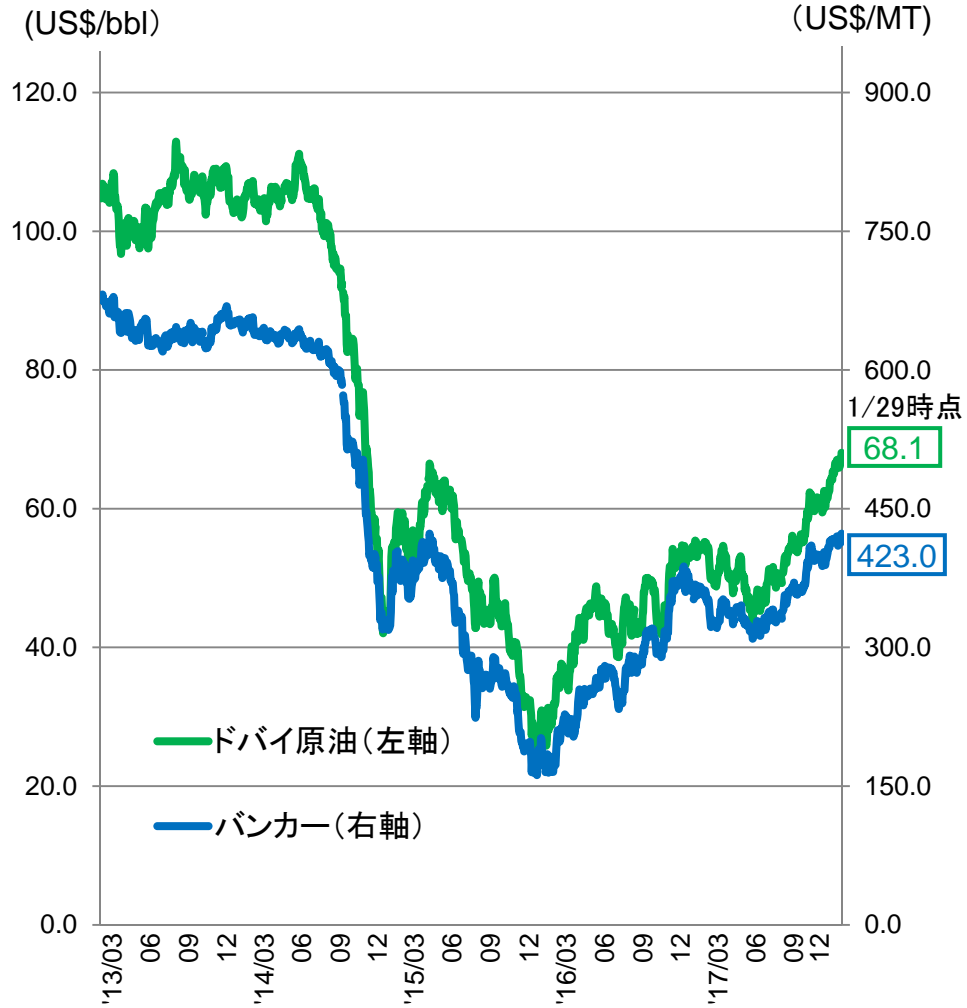
豪州石炭 当社契約価格



原料市況 <原油・スクラップ>

原油

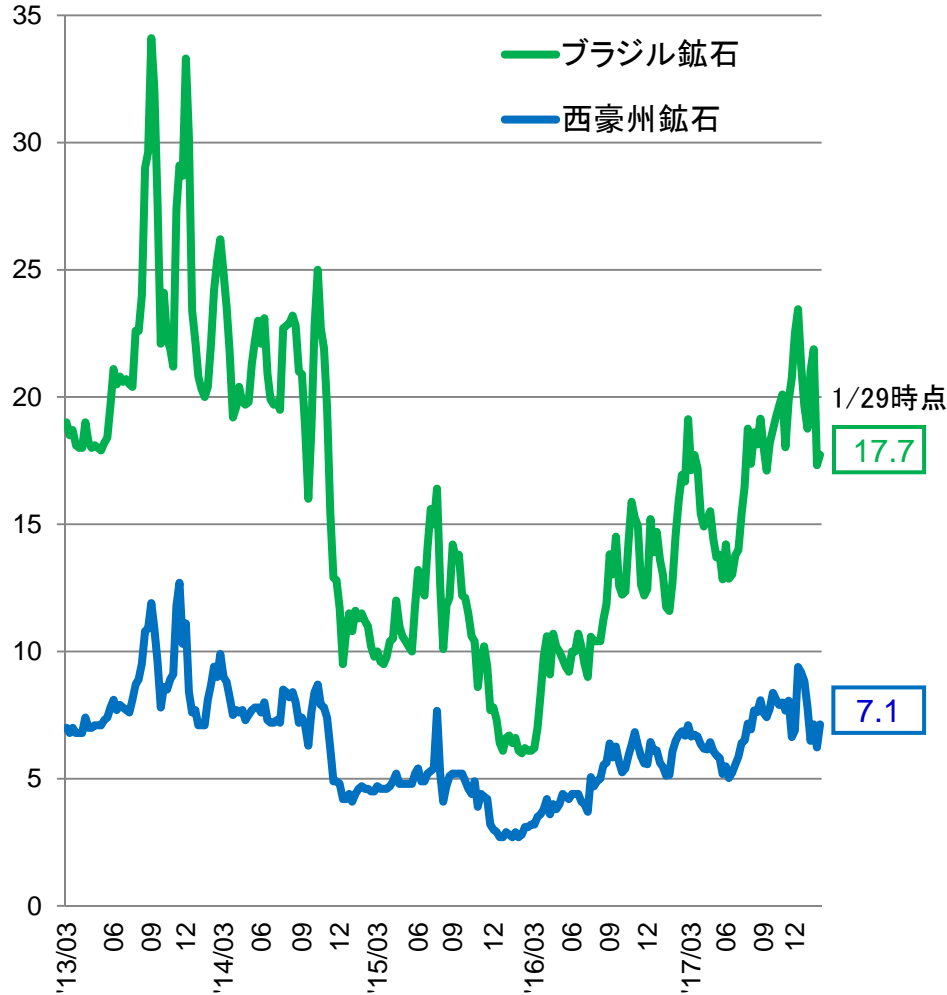
スクラップ



原料市況 <フレート・型鉄>

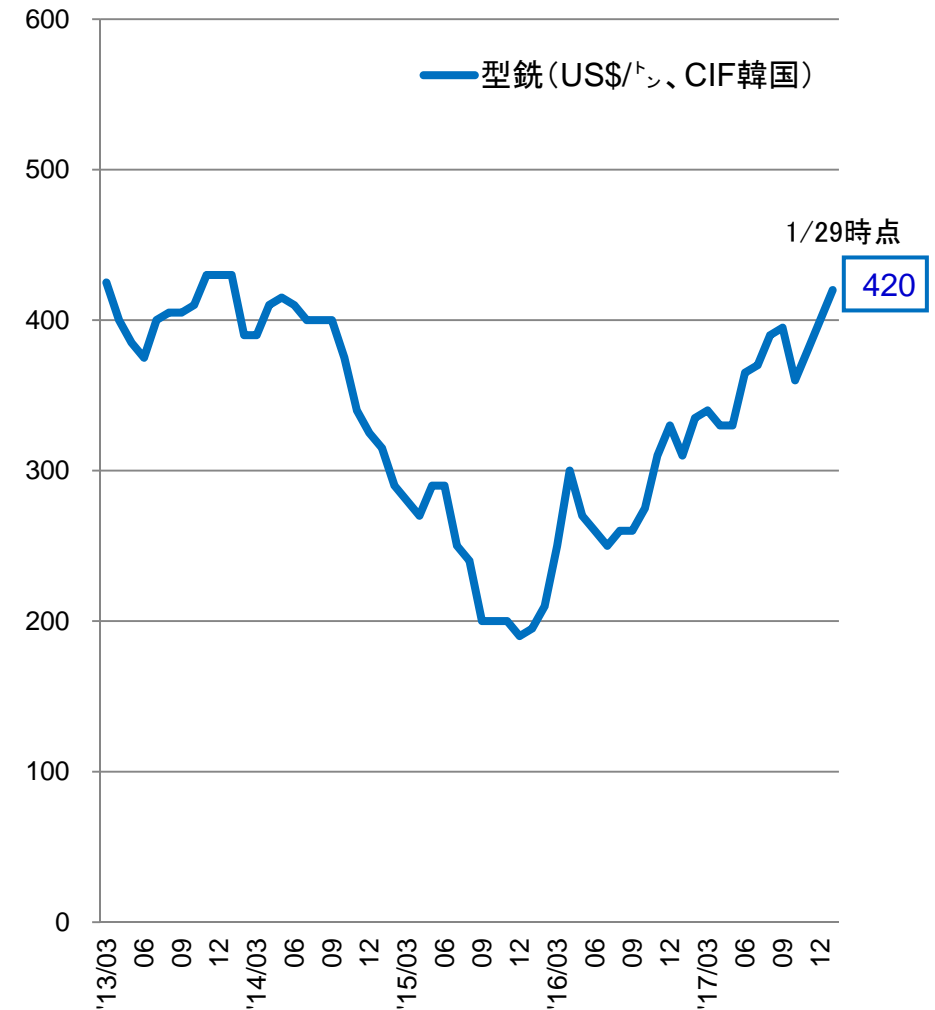
フレート

(US\$/WMT, ケープサイズ 170千t船型)



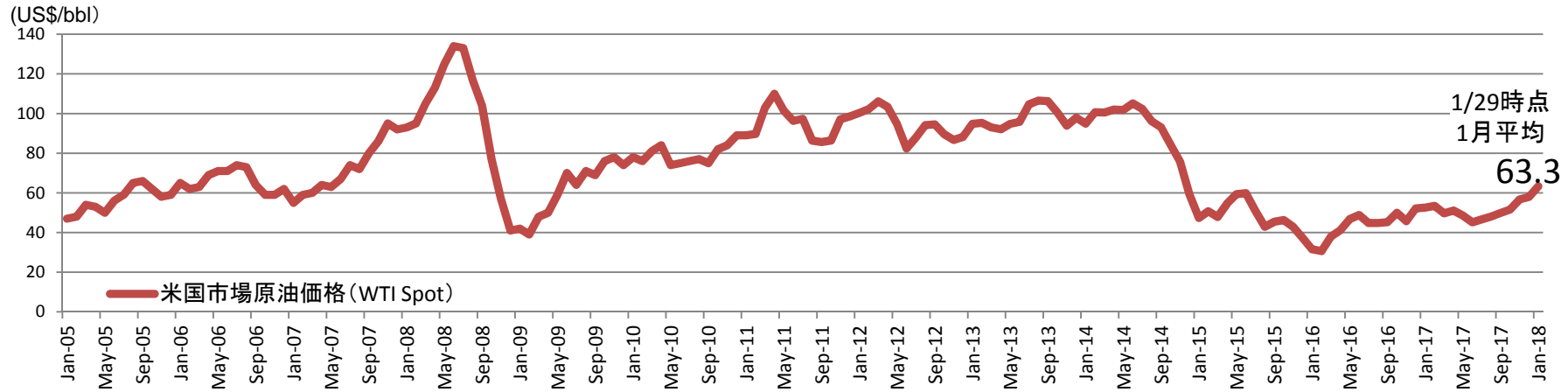
型鉄

(US\$/T, CIF 韓国)

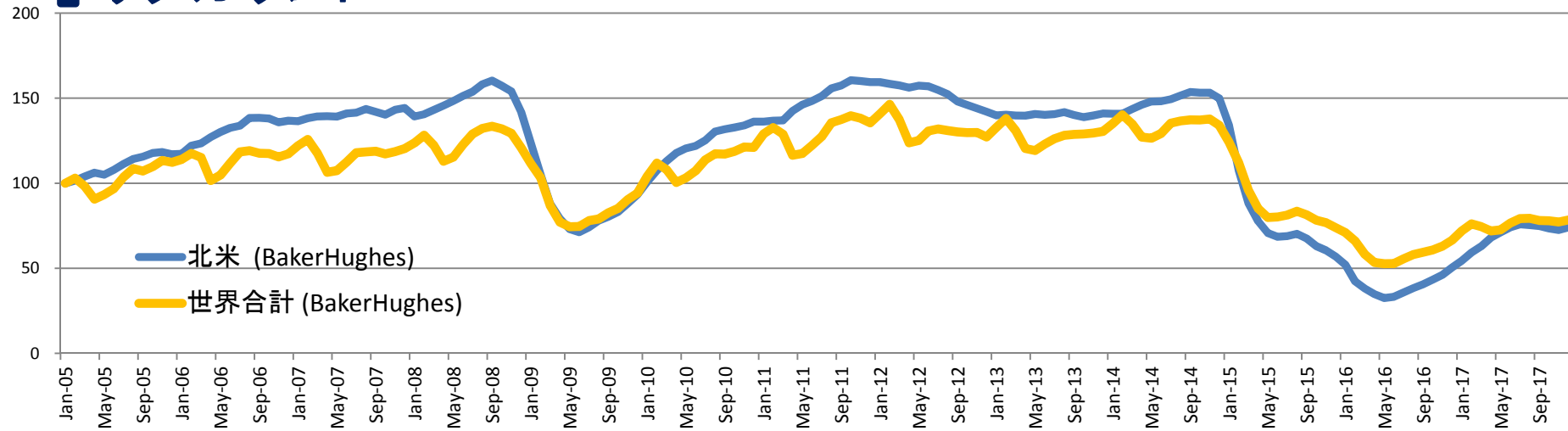


エネルギー関連指標の推移

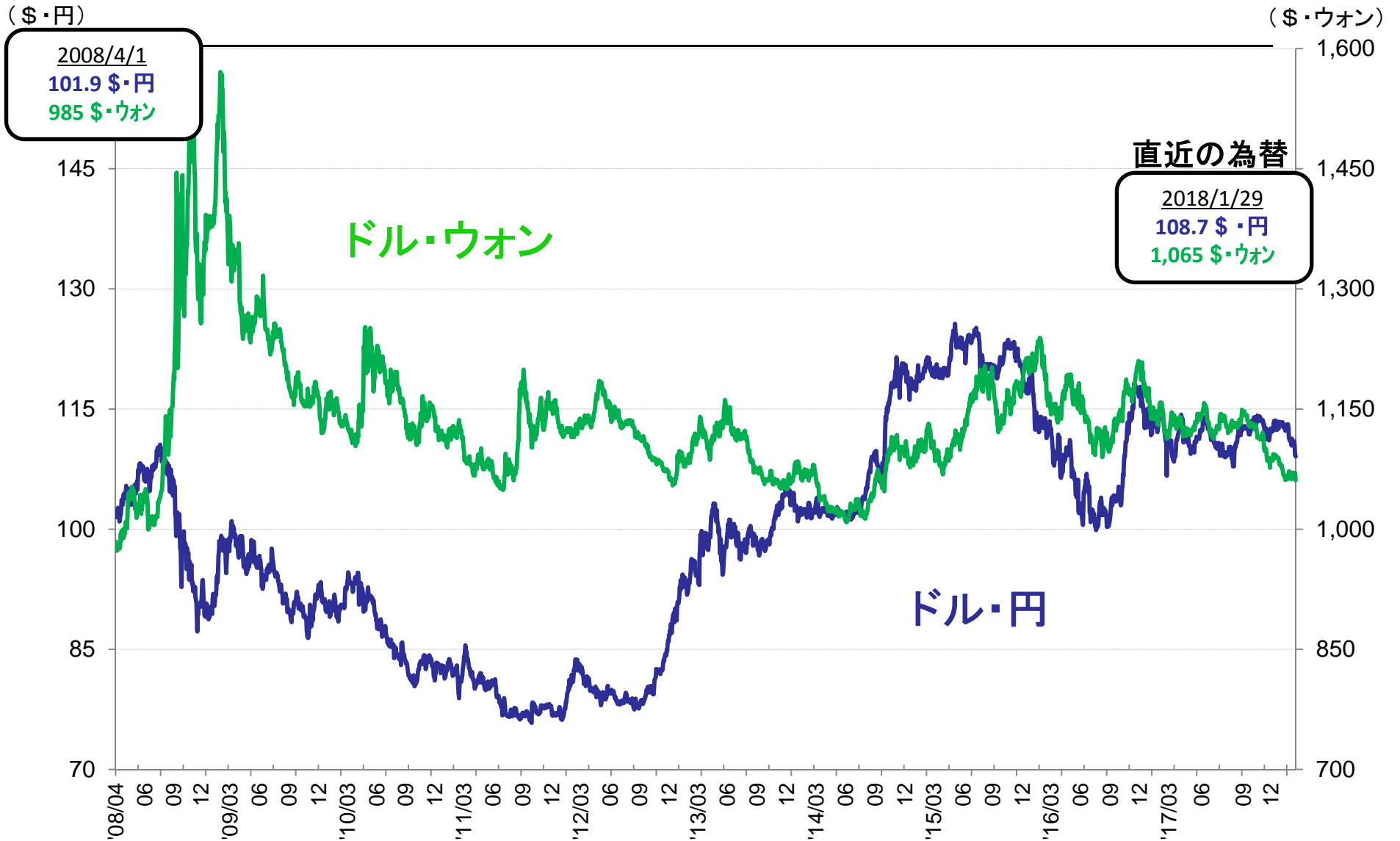
原油価格



リグカウント (2005年1月=100)



為替推移 (ドル・円, ドル・ウォン)



本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。